官報　號外　明治四十年三月十三日　水曜日　印刷局

○第二十三回帝國議會衆議院議事速記錄第十四號

明治四十年三月十二日（火曜日）午後一時七分開議

議事日程　第十三號　明治四十年三月十二日

午後一時開議

第一　樺太ニ於ケル租稅ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第二　明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越ス場合ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第三　渡良瀨川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案（武藤金吉外五名提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第四　煙草專賣法中改正法律案（森本駿外五名提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第五　家祿賞典祿處分ニ關スル法律案（請願委員長提出）　第一讀會

第六　日本水產銀行法案（川島瀧藏外十二名提出）　第一讀會

第七　漁業法中改正法律案（川島瀧藏外十二名提出）　第一讀會

第八　鑛業法中改正法律案（丸山嶸峨一郎外一名提出）　第一讀會

第九　府縣制中改正法律案（植場平外三名提出）　第一讀會

第十　災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案（大津淳一郎外九名提出）　第一讀會

第十一　北海道ニ市制ヲ施行スル法律案（內山吉太外六名提出）　第一讀會

第十二　北海道會法中改正法律案（內山吉太外六名提出）　第一讀會

第十三　北海道地方費法中改正法律案（內山吉太外六名提出）　第一讀會

第十四　夏秋蠶講習所設置ニ關スル建議案（工藤善助外五名提出）（委員長報告）

第十五　鑛物調查ニ關スル建議案（吉植庄一郎外一名提出）

第十六　郡役所廢止ニ關スル建議案（島田三郎外三名提出）

第十七　明治三十三年勅令第百三十二號廢止ニ關スル建議案（川島瀧藏提出）

第十八　渡良瀨川改修工事ニ關スル建議案（木村半兵衛外二名提出）

第十九　製茶販路擴張補助ニ關スル建議案（松浦五兵衛外九名提出）

○議長（杉田定一君）　是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

（書記朗讀）

一貴族院ヨリ送付セラレタル政府提出案左ノ如シ

海港檢疫法中改正法律案

一貴族院ハ本院送付ニ係ル政府提出韓國森林特別會計法案癩豫防ニ關スル法律案及本院提出戶籍法中改正法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

提出者　築山和一君　磯部四郎君

司法官ノ待遇ニ關スル建議案

提出者　宮古啓三郎君　森肇君　立川雲平君

磯部四郎君　阿部德三郎君　小川平吉君

花井卓藏君　矢島浦太郎君　小河源一君

守屋此助君　關直彥君　神崎東藏君

（左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ揭載ス）

一委員長及理事左ノ通リ當選セラレタリ

明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越ス場合ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律案

委員長　須見千次郎君　理事　神戶松之輔君

移民保護法中改正法律案

委員長　橫井時雄君　理事　（西村丹治郎君）

臺灣ニ於ケル特別ノ輸入稅ニ關スル法律案外一件　（江藤哲藏君）

委員長　宮崎榮治君　理事　福島宜三君

○議長（杉田定一君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ申スコトガアリマス、山下重威君ハ病氣ノタメ今十二日ヨリ十日間請暇ノ申出ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（杉田定一君）　御異議ハナイト認メマス——明治三十九年度豫備金支出ノ件委員西山志澄君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（杉田定一君）　御異議ハナイト認メマス、同委員ハ議長ノ指名ニ付キ、松田吉三郎君ヲ補缺トシテ指名ヲ致シマス、決算委員阿部勇治君ハ病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　御異議ハナイト認メマス、同君ハ第三部所屬ニ付キ同部ノ諸君ハ補缺ノ選擧アランコトヲ希望致シマス——日程第一、樺太ニ於ケル租稅ニ關スル法律案第一讀會ノ續、委員長齋藤珪次君

第一　樺太ニ於ケル租稅ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

（齋藤珪次君登壇）

○齋藤珪次君　御報告ヲ致シマス、本案ハ樺太ニ地方的ノ租稅ヲ新タニ起シマスルトコロノ案デアリマシテ、卽チ戶數割、營業稅、雜種稅ト云フモノヲ特ニ此地方ダケニ行

フトコロノ案デゴザイマスル、是ハ段々審議致シマシタ結果、樺太ノ現下ノ狀況ニ於テハ特別ノ方法ヲ設クルヲ必要ト認メマシテ、委員會ハ滿場一致デ、本案ハ可決致シテゴザイマス、ドウカ右樣御承知ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君)　別段議論モナイヤウデアリマスカラ採決致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君)　御異議ハナイト認メマス

○改野耕三君　直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ……

○議長(杉田定一君)　改野君發議ノ通直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君)　御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、委員長報告通御異議アリマセヌカ

樺太ニ於ケル租稅ニ關スル法律案　確定議

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○改野耕三君　讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ……

○議長(杉田定一君)　改野君發議ノ通リ讀會ヲ省略シテ確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君)　御異議ハナイト認メマス、本案ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君)　御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ――日程第二、明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越ス場合ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、委員長須見千次郎君報告

明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越ス場合ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律案(委員長報告)　第一讀會ノ續

○須見千次郎君　諸君、該法案ハ先刻議長ヨリ宣告サレマシタガ、至ッテ簡短デ且明瞭ナ案デアリマス、本員ハ職責上諸君ノ前ニ此法案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、暫ク御靜聽ヲ……、要スルニ此母案トモ云フベキトコロノ帝國大學特別會計法案ナルモノハ、過日ノ本會デ議決シテアルノデゴザイマス、ソレニ付キマシテソレニ付帶スベキ法律案ナルガ故ニ、昨日委員會ヲ開クニ當リマシテ、卽決ノ提議ガアリマシテ、二三ノ質議ガ出マシテ、而シテ後滿場ノ一致ヲ以テ原案ノ通リ可決セラレメノデアリマス、終リニ臨ンデ一言致シマスルガ、本會ニ於キマシテモ滿場一致デ速ニ可決アランコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君)　別段御異論ガナイヤウデアリマスカラ採決シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君)　御異議ナイト認メマス

○改野耕三君　直チニ二讀會ヲ開イテ、讀會ヲ省略シテ、決定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君)　改野君發議ノ通リ直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ、決定スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君)　御異議ナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、委員長報告通リ御異議アリマセヌカ

明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越ス場合ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律案　確定議

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君)　御異議ナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ――日程第三、渡貫瀨川沿岸地方特別他價修正法律中改正法律案第一讀會ノ續、委員長池田惟貞君報告

渡貫瀨川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案(武藤金吉君外五名提出)　第一讀會ノ續(委員長報告)

〔池田惟貞君登壇〕

○池田惟貞君　渡貫瀨川沿岸地方特別地價修正法改正ニ對スル委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、此問題ハ每期現ハルヽトコロノ問題デアリマシテ、前期議會デハ既ニ本院デハ可決サレテアリマス、ソレ故ニ此內容モ御承知ノコトデアラウト思ヒマスカラ、詳シイコトハ申シマセヌガ、唯之ニ對スル政府ノ反對スルトコロノ要點ト、委員會ガ可ト認メタトコロノ理由ヲ簡單ニ報告致シマス、政府ニ於キマシテモ全ク此田畑以外ノ宅地原野等ニ鑛毒被害ノナイト云フコトハ言ヘナイ、全然之ガ被害ガナイトハ言ヘナイガ、先ニ鑛毒調査會ヲ開イテ其調査會ノ結果トシテ、田畑以下ノモノニハ地價修正ヲ施行スルノ必要ヲ認メナイ、殊ニ宅地ノ如キハ家ヲ建テルガ此宅地ノ本質デアリマスカラ、多少土壤ノ變換ヲシテモ、地價修正ヲスルノ必要ハ認メナイト云フガ、卽チ政府反對ノ要點デアリマス、併シ此委員會ハ先ニ免租處分ヲサレタコトガアル、其免租處分ヲサレタ時分ニハ、田畑以前ノ卽チ宅地モ山林モ原野モ盡ク有租地ト同一ニ看做シテ此免租處分ヲサレテアル、ソレハ未ダ免租繼續中ノモノモアル、殊ニ此宅地ナルモノハ成程家ヲ建テルガ主眼デハアルケレドモ、郡村宅地ノ如キハ決シテ家ノミヲ建テルト言ヘナイ、畑同樣ニソレ相應ノ野菜ヲ耕作シテ居ルコトモアル、多少ノ防禦林ヲ拂ヘテアル、若シ土質ヲ變換シタ以上ハ、田畑同樣ニ此地價ヲスルノハ相當デアル、卽チ先ノ明治三十七年ノ法律ガ不備デアルカラ、此案ヲ以テ其不備ヲ補フノガ相當デアルト云フコトガ、卽チ委員會ノ可ト認メタ次第デアリマス、委員會ハ全會一致ヲ以テ原案ヲ贊成シマシタ

○議長(杉田定一君)　別段御異議モナイヤウデアリマス、

○政府委員(櫻井鐵太郎君)　議長

○議長(杉田定一君)　櫻井政府委員

〔政府委員櫻井鐵太郎君登壇〕

○政府委員(櫻井鐵太郎君)　渡貫瀨川沿岸地方特別地價修正法案ノ改正ニ對シマシテハ委員會ニ於キマシテ政府ノ反對ノ意見ヲ申述ベテ置キマシタガ、其要點ハ地價ノ修正ハ田畑ニ於テ修正スベキ必要ガアルト云フノヲ認メマシテ、宅地山林原野等ニ於テハ修正ヲスル要ハナイト云フ趣意ヲ以テマシテ、反對ノ意見ヲ申述ベテ置キマシタガ、玆ニ簡短ニ本案ニ同意ヲ致シマセヌト云フコトヲ申述ベテ置キマス

○議長（杉田定一君）　武藤金吉君
（武藤金吉君登壇）
（「簡短々々」ト呼フ者アリ）
○武藤金吉君　是ハ昨年モ出マシタ案デ、政府委員カラ反對ノ說明ガゴザイマセヌナラ演說ヲ致シマセヌ積リデアリマシタトコロ、政府委員カラ反對ガアリマシタカラ、簡單ニ述ベテ置キマス、是ハ要スルニ鑛毒ノ有無ト云フコトハ政府モアリト認メテアルノデアリマシテ、ソレカラ此案ニ依ッテ三十七年ノ法律第十六號ノ不備ヲ補フト云フコトハ、曩ニ兇禍處分ヲ行ッテ二年及十五年以內ニ於テ——現在ニ於キマシテモ兇租處分ヲ受ケテ居ッテ、土地ガ荒廢ニ屬シテ居ル部分デアル、是ハ政府モ認メテ居ッテ御同意ガナイト云フコトハ、誠ニ事理明晰デ、モウ議論ヲスル餘地ハナイコトデアリマスカラ、ドウゾ昨年モ滿場一致ヲ以テ御決議ヲ戴キマシテ、本年ニ於キマシテモ委員會ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以テ可決ニナッテ居リマスカラシテ、委員長ノ報告通リ御贊成アランコトヲ切ニ希望致シマス
（「贊成々々」ト呼フ者アリ）
○議長（杉田定一君）　採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
起立者
（「多數々々」又ハ「少數々々」ト呼フ者アリ）
○議長（杉田定一君）　少數ト認メマス
（「多數々々」「異議アリ異議アリ」ト呼フ者アリ）
○議長（杉田定一君）　議長ハ少數ト認メマスガ……
（「異議ガアリマス」ト呼フ者アリ）
○議長（杉田定一君）　異議ガアリマスカ——異議ニ成規ノ贊成ガアリマスカ
（「アリマス」ト呼フ者アリ）
○議長（杉田定一君）　異議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス
（書記官起立者ノ數ヲ計算ス）
○議長（杉田定一君）　成規ノ贊成ガアルト認メマス、然ル以上ハ從來ノ慣例ニ依リマシテ、記名投票ヲ以テ可否ヲ決シマス——閉鎖——本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フ方、卽チ本案ニ贊成ノ御方ハ白キ札ヲ御持參ニナルヤウニ、本案ノ二讀會ヲ開クベカラズ、卽チ反對ノ御方ハ靑キ札ヲ御持參ニナルヤウニ願ヒマス、點呼
（書記氏名ヲ點呼ス）
○議長（杉田定一君）　投票漏ハアリマセヌカ、開鎖——開匣
（書記官投票ノ數ヲ計算ス）
○議長（杉田定一君）　投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致シマス
（林田書記官長朗讀）
出席總員　二百六十
可トスルモノ　百九十九
否トスルモノ　六十一
（拍子起ル）
（參照）
本案ノ第二讀會ヲ開クヘシトスル者
丹後　直平君　景山甚右衞門君　神前　修三君　海野　謙次郎君
福島　美之助君　永見　寬二君　奥野市次郎君　菅原　傳君
村野常右衞門君　福岡　精一君　改野　耕三君　安藤　新太郎君
江藤　哲藏君　古賀　庸藏君　山本　幸彥君　石川　清君
漆　昌巖君　村松　愛藏君　松井　源內君　萩野　左門君
關　信之介君　三輪　傳七君　三輪　信次郎君　高橋　勝七君
麥田　宰三郎君　島田　三郎君　長谷部　倉藏君　田中　定吉君
山村　豐次郎君　脇　榮太郎君　由布　惟義君　遠藤　艮吉君
中西　新作君　栗原　宣太郎君　籾木　卿太郎君　東尾　平太郎君
朝倉　鐵藏君　森田　卓爾君　淺見　竹太郎君　山田　平太郎君
平島　松尾君　菅澤　重雄君　望月　長夫君　齋藤　勘七君
關　春　茂君　須見　千次郎君　小田　文行君　山口　達太郎君
佐藤　庫喜君　榎本　次郎右衞門君　高橋　金治君　鹿島　秀麿君
中村　淸一郎君　菊池　武德君　植場　平君　濱田　國松君
神崎　東藏君　國谷　亨君　大竹　貫一君　久保田　與四郎君
齋藤　宇一郎君　野上　嘉平君　大石　熊吉君　澤田　耕治郎君
大熊　三之助君　小山田　信藏君　望月　小太郎君　藤崎　朋之君
加瀨　禧逸君　池田　惟貞君　堀谷　左治郎君　安岡　雄吉君
靑地　雄太郎君　木村　半兵衞君　內藤　利八君　金岡　又左衞門君
大津　淳一郎君　藤澤　幾之輔君　守屋　此助君　安島　重三郎君
澤　來太郎君　木村　格之輔君　首藤　陸三君　栗原　亮一君
廣瀨　久政君　西山　彰君　東　一君　左右君　松田　吉三郎君
後藤　文一郎君　林　小參君　遠山　正和君　竹田　千代足君
西村　丹治郎君　田寺　敬信君　川島　瀧藏君　松本　長平君
大野　久次君　望月　右內君　立川　雲平君　濱名　信平君
江間　俊一君　齋藤　和平太君　古井　由之君　山森　隆君
前島　元助君　鵜飼　退藏君　星野　長太郎君　大久保　弁太郎君
川眞田　德三郎君　工藤　善助君　天野　藤三君　高橋　安爾君
江原　節君　宮部　襄君　楠目　玄君　永島　龜代司君
奥村　善右衞門君　武滿　義雄君　持田　若佐君　米田　武八郎君
岩本　晴之君　武市　庫太君　宮崎　榮治君　千葉　禎太郎君
松家　德二君　宮古　啓三郎君　雄倉　茂次郎君　紫垣　一雄君
森　茂生君　柴　四朗君　森　肇君　石田　孝吉君
岡井　藤之丞君　武藤　金吉君　矢島　浦太郎君　丸山　嶸峨一郎君
島津　艮知君　宮本　嘉樂君　根本　正君　辻　寬君
安達　謙藏君　駒林　廣運君　淺野　順平君　築山　和一君
石塚　重平君　橫堀　三子君　田村　順之助君　三井　忠藏君
谷澤　龍藏君　石谷　傳四郎君　久保　彥太郎君　日向　輝武君
柳田　藤吉君　佐竹　作太郎君　木暮　武太夫君　川原　茂輔君
內藤　魯一君　大戶　復三郎君　井上　角五郎君　七里　淸介君
井上　與一郎君　山田　省三郎君　藤井　牧太君　南條　吉左衞門君
鳥海　哲四郎君　佐藤　虎次郎君　粕谷　義三君　長谷川　豐吉君
鳥山　敬二郎君　久保　伊一郎君　須藤　嘉吉君　橫田　虎彥君

（參照）
本案ノ第二讀會ヲ開クヘシトスル者
丹後　直平君　景山甚右衞門君　神前　修三君　海野　謙次郎君

城　重雄君　淺羽　靖君　大畑　純次君　中西　六三郎君
横山　一平君　內山　吉太君　青柳　信五郎君　横山　寅一郎君
米澤　紋三郎君　佐藤　伊助君　竹村　貞君　清水　隆德君
石田　仁太郎君　進藤　喜平太君　齋藤　貞輔君　野木　善三郎君
天野　董平君　國井　庫君　福井　三郎君　井上　精一郎君
降旗　元太郎君　安念次左衞門君　伊夫伎　資弼君　河井　重藏君
關野　善次郎君　市田　兵七君　尾形　兵太郎君

本案第二讀會ヲ開クベカラズトスル者

松浦　五兵衞君　鈴木　摠兵衞君　河上　英君　横井　甚四郎君
鷹田　鹿之助君　上野　彌一郎君　內貴　甚三郎君　牧野　元君
大井　卜新君　北村　左吉君　福島　宜三君　渡邊　敬昌君
大野　龜三郎君　片山　正中君　長　晴登君　野尻　邦基君
關根　柳介君　山本　繁造君　瀧口　吉貞君　中倉　万次郎君
高木　龍藏君　澤田　佐助君　林　有造君　三輪　猶作君
阿部　勇治君　松本　剛吉君　是永　歳太郎君　植木　元太郎君
瀨下　秀夫君　向坂　弘君　上埜　安太郎君　鈴木　藤三郎君
多田　作兵衞君　林　小一郎君　中林　友信君　遊田　研吉君
松本孫右衞門君　伊藤傳右衞門君　横井　時雄君　中西　孫太郎君
鈴木　友治郎君　山崎　直純君　武內　美代吉君　湯山　壽介君
藤金　作君　河原林　義雄君　池松　豐記君　美禰　龍彥君
阿部　德三郎君　坂元　英俊君　森本　駿君　征矢野　半彌君
栗塚　省吾君　山口　小一君　遠藤　庸治君　神戸　松之輔君
野口　源一郎君　高梨　哲四郎君　矢島　中君　毛里　保太郎君

○議長（杉田定一君）本案ハ二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○神崎東藏君　直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ、可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君）神崎東藏君ノ發議ノ通リ、直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○議長（杉田定一君）御異議ガナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス委員長報告

通御異議アリマセヌカ

渡良瀨川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案　確定議

〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○議長（杉田定一君）御異議ガナイト認メマス、是デ本案ハ確定致シマシタ——日程第四、煙草專賣法中改正法律案、第一讀會ノ續委員長報告、藤金作君

第四　煙草專賣法中改正法律案（森本駿君外五名提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

〔藤金作君登壇〕

○藤金作君　諸君私ハ葉煙草專賣法律案ノ委員會ノ經過ヲ報告致シマス、本案ハ委員會ヲ五回程開會致シマシタ、尤モ一回ハ大藏大臣ノ出席ガ出來ナイ都合ニ依ッテ流會致シマシタ、一回ハ定足數ニ滿タザル故ヲ以テ流會致シマシタ、然ルニ委員ハ當局者ニ對シテ、本案ニ付イテハ愼重ナル質問ヲ致シマシタ結果、原案ニ對シテ修正ノ必要ヲ認メラレマシテ、特別委員五名ヲ選舉致シテ詳細ナル調査ノ結果、別ニ修正案ガ出來マシタ、而シテ此案ニ對シテハ大藏大臣ニ直接質問スル必要ガアリマシテ、大藏大臣ノ出席ヲ求メ、專賣法制定以來ノ經過ニ付イテ詳シク質問ヲ致シタ結果ハ之ニ付イテ祕密會ヲ要スルノ事情ガ生ジマシタ故ニ、祕密會ニ於テ尙當局ニ質問ヲ致シマシタ上、委員會ニ於テハ此修正案ニ對シテハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、政府ハ本案ニ對シテハ已ムヲ得ズ同意ヲ表スルコトノ出來ナイト云フ意思ヲ發表致シマシタ次第デアリマス、尙簡單ニ此修正案ノ要領ヲ御報告致シマスレバ、御手許ニ回シテモゴザイマスケレドモ、原案ニ於テハ最下級三百圓ヲ交付スルトアルノヲ、二百五十圓ト修正ガシテゴザイマス、又政府ガ答ヘルトコロニ於テハ、本案ガ通過スルトキハ、三百万圓ヲ要スルデアラウト云フトコロノ答辯デゴザイマシタガ委員ノ修正案ハ之ヲ二百万圓ニ止メテ、其不足スルトコロハ按分比例ヲ以テ交付スルト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマス、本案ニ對シテハ特別委員ノ方ヨリ尙必要ナ說明ヲセラルヽコトニナッテ居リマス、委員長ハ是ニテ報告ヲ止メテ置キマス

〔政府委員若槻禮次郎君登壇〕

○政府委員（若槻禮次郎君）　本案ニ付イテハ一讀會ノ初メニ於テ、又委員會ニ於テ政府ガ御同意ヲ申上ゲヌト云フコトヲ十分ニ辯明致シテ置キマシタガ、併ナガラ唯今委員長カラ、委員會デハ政府ノ意思ヲ容レズシテ、可決ニナッタト云フ報告ガアリマシタ付イテ、極ク簡單ニ政府ガ御同意申サヌト云フコトノ要點ヲ申上ゲマス、此葉煙草賣買業者ニマデモ交付金ヲ與ヘルヤ否ヤト云フ問題ハ、煙草專賣法制定ノ當時ニ十分審査ヲ盡シタ上、熟考ノ上ニ是ハ與ヘヌト云フコトニ極ッタノデアリマス、ソレデ政府ガ反對ヲ致シマスノハ總テ斯ウ云フ法案ノ如キ金錢ノ交付ニ關スル問題ハ、一度極タラ動カヌト云フコトニナラナケレバ困ル（「ヒヤ〳〵」）是ガ政治上ニ極ク必要ナコトデアッテ、一旦極ッタモノヲ動カスト云フコトニナリマスト甚ダ困ル、斯ウ云フノガ要點デアリマスノデ、政府ハドコマデモ本案ニハ贊成致シマセヌ

〔「政府ニ同意」ト呼フ者アリ〕

〔宮古啓三郎君登壇〕

○宮古啓三郎君　此問題ハ國庫カラシテ葉煙草賣買業者ニ金ヲ交付スルト云フコトデアッテ、頗ル重大ナル問題デゴザイマスカラ、私モ之ヲ提出致シマシタ一人ト致シマシテ、又特別委員ノ一人ト致シマシテ、聊カ申上ゲテ諸君ノ參考ニ供シタイト存ジマス、先以テ申上ゲタイ事柄ハ私共モ諸君ノ驥尾ニ附シマシテ政費ノ節減ト云フコトヲ常ニ希望ヲ致シ、又國民ノ負擔ト云フモノガ成ルベク輕クナルヤウニト云フコトヲ、常ニ考ヘテ居ル者デゴザイマス、ソレデアリマスカラシテ若シ此葉煙草ノ賣買業者ト云フヤウナモノニ對シマシテ、金ヲ遣ルニハ及バヌ、左樣ナ理由ハ無イデアルト云フヤウナコトデアリマスルナラバ、是ハ誠ニ幸ナコトデゴザリマシテ、私共モ諸君ト共ニ之ヲ喜ブノデアリマス、併ナガラ諸君、試ニ御考ヲ願ヒマス、國家ト云フモノハ不條理ナコトヲシテマデモ、自己ニ利益ヲ得タイト云フコトヲ考ヘルモノデハアリマセヌ、必ズ遣ラネバナラヌ相當ノ理由ノアルモノニ對シテハ、國家ハ之ヲ遣ルコトヲ決シテ吝ムモノデハゴザイマセヌ、ソレデゴザイマスカラシテ此問題ト云フモノハ、畢竟葉煙草賣買業者ニ對シテ金ヲ與ヘルノガ條理ノ上デ相當ナルカ、若クハ與ヘナイノガ條理ノ上デ相當ナルカト云フ、即チ條理ノ判斷ニヨリマスルノデゴザイマス（「既ニ決スル久シ、煙草法ハ既ニ決スル久シ」ト呼フ者アリ）私ハソレ故ニ

此葉煙草賣買業者ト云フモノハ、果シテ如何ナルモノデアッタノデアルカ、又外國煙草ノ一手販賣業者ト云フモノハ果シテ如何ナルモノデアッタカト云フコトヲ申上ゲテ、サウシテ諸君ノ御考ヲ願ハナケレバナラヌ、ソレニ依ッテ果シテ條理ノ上デ相當ナルヤ否ヤト云フ御判斷ヲ諸君ニ仰ガナケレバナラヌノデアリマス、若シ一向ニ事實ガ分ラズシテ判斷ヲスルコトニナルト容易デゴザイマセヌカラ、私ハ此點ニ付キ多少調ベテ居ルモノデアリマスカラ、幾ラカ諸君ノ御參考ニナルコトヲ述ベタイト思フノデアリマス、諸君ガ豫テ協贊ヲ與ヘラレマシタルトコロノ葉煙草專賣法ト云フモノガゴザイマスガ、其葉煙草專賣法ト云フモノニ於テ、煙草ノ營業者ト認メテ來タトコロノモノガ二ツアルノデゴザイマス、其二ツノモノデアルカト申シマスト、卽チ煙草ノ製造業者ト葉煙草賣買業者ト、此二ツノモノデアリマス、此二ツノモノト云フモノハ葉煙草專賣法ニ於テ之ヲ同樣ニ看做シテ居ッタノデゴザイマス、而シテ此二ツノモノト云フモノハ豫テ免許ヲ與ヘラレナケレバ營業ヲスルコトハ相成ラヌト云フコトデアッテ、而シテ年々若干ノ金員ヲ納メテ、卽チ免許料ナルモノヲ納メテ、營業ヲ來ッタモノデアリマス、而シテ又此二ツノモノニ對シマシテモ、何レニ對シマシテモ制限ヲ大ニ加ヘテ居ッタノデアル、例ヘバ此二ツノモノハ葉煙草ノ耕作ト云フモノヲシテハ相成ラヌ、トナッテ居ルソレカラ又帳簿ヤ何カニ於テ大ナル制限ヲ加ヘラレテ居ッタノデアリマス、此二ツノモノガ等シク煙草ノ營業者トシテ葉煙草專賣法ニ於テ認メラレテ居ッタトコロガデス、是モ諸君ガ御協贊ニナリマシタトコロノ煙草專賣法ト云フモノヲ實施スルトキニナリマシタトキニ、此煙草ノ製造業者ト云フモノニ對シマシテハ、諸君ノ御承知ノ通リ交付金ナルモノヲ與ヘタ、然ルニ等シク煙草營業者ト認メラレテ居ッタ葉煙草賣買業者ニ對シテハ、一錢一厘ノ交付ト云フモノモシテ居ラヌノデアリマス、而シテ此葉煙草賣買業者ナルモノハ如何ナルモノデアルカト云フコトヲ申シマスト云フト、是ニハ種々ナル部類ガゴザイマスケレドモ、其中ニ就イテ最モ損害ノ大キナモノヲ申シマスト云フト、先祖傳來ノ所謂煙草ノ問屋ナルモノデアル、是等ハ倉庫ノ必要モゴザイマスシ、賣店ノ必要モゴザイマスシ、種々ナル設備ヲ設ケテ、ヤハリ煙草製造業者ト同ジク營業ヲシ來ッタモノデゴザイマス、殊ニ私共ノ縣ノ如キニ於テハ多イノデアリマス、或ハ七代煙草問屋デアッタ、或ハ十代煙草問屋デアッタト云フモノガ澤山アッタノデアリマス、斯ノ如キモノガ此煙草ノ專賣法ト云フモノヽ實行ト共ニ其營業ト云フモノヲ失ッテシマッタ、營業ト云フモノヲ奪ハレテシマッタ、サウシテ何等ノ交付ガナイト云フ狀態ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ又一手販賣業者ト云フヤツハ、是ハ諸君モ御承知ノ通リ、外國ノ煙草ヲ日本ニ於テ一手ニ專賣ヲシテ、澤山ノ廣告ヲシ、澤山ノ賣店、澤山ノ倉庫ヲ設ケテ、サウシテ營業シ來ッタ者デアリマス、ソレ煙草專賣法ノタメニ、ソッタリ其營業ヲスルコトガ出來ナイヤウニナッタノデアリマス、ソレ故ニ是等ノ者モ亦莫大ナルトコロノ損害ト云フモノヲ負ウテ居ルノデアリマス、此葉煙草賣買業者及一手販賣業者ガ損害ヲ負ウテ居ルト云フコトニ付イテハ政府ニ於テモ認メテ居ルノデアル、過日委員會ニ於テ大藏大臣ガ出ラレタトキニ、實ニ是等ノ業者ノ中ニハ、非常ナ氣ノ毒ノ者ガアル、誠ニ涙ノ溢レルヤウナ者ガアルト、斯ウ云フ事柄ヲ大藏大臣ハ言ウテ居ッタノデアリマス、ソレ故ニ此失業卽チ煙草專賣法ノタメニ、其業ヲ奪ハレテ營業ガ出來ナイ、ソレガタメニ多額ノ損害ガアルト云フ事柄ハ、諸君モ恐ラク認メテ居ルデアラウシ、又政府ニ於テ之ヲ認メテ居ルト云ウテ決シテ差支ナイ、斯ノ如キ者ニ對シテ、何等ノ補償ト云ウモノヲ與ヘナイデサウシテ此營業ヲ奪ッテシマッテ、國家ハ宜シイモノデアルカドウカ、此點ガ卽チ諸君ノ判斷ヲ請フ點デアリマス、政府ガ此案ニ對シテ反對ヲ致シマスルトコロノ理由ハ、ドウ云フ處ニアルカト云フコトヲ聞イテ見マスト云フト、誠ニ私ハ薄弱デアルト思フ、ソレハ卽チ一體煙草專賣法ト云フモノハ、轉業ニ困難ト云フコトヲ主義ニ取ッタノデアル、其主義カラ言フト本案ノ如キ者ニ對シテ與ヘナクテモ宜シイノデアル、卽チ主義ノ上ヲ與ヘナクテ宜シイノデアルト、斯ウ云フコトヲ言ウテ居ルノデアリマス、所デ私ハ此點ニ付イテ元來主義デアルトカ、原則デアルトカ、學問ノ研究的ノ言葉ヲ使フ必要ハ少シモナイト思フ、此問題ニ對シマシテ判斷ヲスルニ付イテハ、此立憲國ト其人民トノ關係ハ如何ナルモノデアルカ、壓制ナルトコロノ國家デアルナラバ、人民ノ業務ヲ直チニ奪ッテシマッテ、少シモ差支ハアリマスマイ、併ナガラ立憲國ト云フモノト立憲國ノ人民トノ關係ハ左樣ナモノデ宜シイカ否ヤ、ソレカラ果シテ損害ガアルヤ否ヤ、常識ノ上カラ判斷ヲ下スコトガ事ノ當然デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、諸君、成程法律ヲ設ケテ國家ニ於テ人民ノ私權ヲ奪フト云フコトハ出來ナイコトデハ勿論ゴザイマセヌ、出來ナイコトデハゴザイマセヌケレドモ、併ナガラ此私權ヲ奪ッテ、損失ヲ掛ケルト云フ際ニ於テハ、相當ノ補償ヲシナケレバナラヌト云フノハ、國家當然ノ義務デアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ畢竟此葉煙草賣買業者ナル者ニ於テ損害ガアルト云フコトガ茲ニ明カデアリマスナラバ、立憲國ナルモノハ是等ノ者ニ對シテ何等ノ補償ナクシテ、其營業ヲ奪去ッテシマフト云フコトハ出來ベキモノデナイト考ヘルノデアリマス、私共ハ諸君ト同ジク金ヲヤラヌト云フコトハ、誠ニ結構ノコトニ思ヒマスケレドモ、併ナガラ此ノ如キ場合ニ於テ、是等ノ者ニ對シテ何等ノ補償ヲ與ヘナイデ、此憫レナル人民ヲ殘酷ナル目ニ遭ハシメテシマフト云フ事柄ハ、到底私共ニ於テ出來ナイコトデアルノデアリマス尙進ンデ政府ガ言フトコロノ主義ト云フモノニ付イテ申シマスガ、此主義ト云フモノガ卽チ唯轉業ノ困難ト云フコトニアルノデゴザイマス、私共ハ決シテ此主義ノ變更ヲ求メルト云フ考デハ少シモナイノデアル、轉業ノ困難ト云フコトハ何デアルカト云フト、畢竟損害ト云フモノガ大キイト云フ點ニ存スルノデアリマス、此損害ガ莫大ナラバ轉業ガ困難デアル、損害ガ無ケレバ轉業ガ容易デアルト云フコトニ畢竟歸著スルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ轉業ノ難易ト云フコトハ、卽チ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、損害ノ有無ト云フコトニ相成ルノデアリマス、此困難カ否カト云フコトハ、元來程度ノ問題デ、ドレダケガ困難デアッテ、ドレダケガ困難デナイカト云フコトハ、其モノニ付イテ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、唯今申上ゲマスル通ノ次第デアッテ此先祖傳來ノ營業ヲ失ヒ、而シテ倉庫其他ノ點ニ於テ損害ヲ負フト云フヤウナ事柄ニ相成リマスル場合ニ於テハ、之ヲ以テ轉業ニ容易デナイト云フコトヲ言フノハ當然デアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、茲ニ至ッテハ製造業者ト賣買業者トノ間ニ何等ノ區別ハナイト考ヘルノデアリマス、唯其區別ノ存スルハ煙草製造業者ト云フモノハ損害ガ割合ニ少イ、是ヨリ外ニ此間ニ違フトコロハナイノデアリマス、ソレデゴザイマスカラ交付金ヲ與ヘル際ニ於テハ製造業者ノ方ニ多分ニ與ヘ、賣買業者ノ方ニ少シ與ヘルト云フ事柄ハ是ハ當然デゴザイマス、ソレ故ニ此案ニ於テハ製造業者ノ半額ト云フコトニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、斯ノ如キ次第デアッテ兎ニ角ニ是等ノモノガ多額ノ損害ヲ負ウテ、轉業ニ困難デアルト云フ事情ガ存シマスル以上ハ、此營業ヲ何等ノ補償ナクシテ奪フコトハ出來ナイノデゴザイマスカラ、卽チ此案ノ如クニ對シテ相當ノ補償ヲ與ヘネバナラヌト云フ理窟合ニナルノデゴザリマス、尙又茲ニ政府ガ反對ノ理由トシテ述ベラレタコトニ付イテ一言申シマス、政府ニ於テハ斯ウ云フコトヲ言ハレテ居リマス、煙草ノ製造ト云フ事柄ハ工業デアル、賣買業ト云フ事柄ハ商業デアル、工業ニ對シテハ補償金ヲ與ヘテ宜シカラウガ、商業ニ對シテハ補償金ヲ與ヘヌデ宜イデヤナイカト、斯ウ云フ議論デゴザリマス、併ナガラ此點ニ付イテ能ク諸君ノ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、假リニ今日政府ガ呉服太物業ヲ官營ニスルト考ヘテ御覽ナサイ、呉服太物ノ業ヲ官營トスルト云フ場合ニナリマスルト云フト、所謂三越トカ、若クハ大丸トカ、若クハ白木屋トカ云フ、斯ノ如キモノハ直チニ業ヲ失ウテシマフノデアリマス、此場合ニ於テ此大丸ナリ三越

ナリ白木屋ナリ、先祖傳來爲シ來ッテ居ル此營業ヲ奪ッテ仕舞フノニ何等ノ補償金ナクシテヤッテ差支ナイカドウカ、斯ノ如キ議論ヲ押通サレルト云フコトニナッタナラバ、私共ハ一日モ安心シテ居ラレヌノデアリマス、何等ノ商賣ヲ始メテモ、イツ何時政府カラ之ヲ奪去ラレルカ知レヌト云フコトニ相成ッタナラバ、吾々ハ實ニ困難ナル位置ニ立チ、一日モ安心ノ念ヲ懷クコトハ出來ナイノデアリマス、此點ニ付イテハ諸君能ク御考ヲ願ヒタイノデアリマス、葉煙草賣買業者ハ是等商業ト何等ノ區別ガゴザリマセヌ、何等ノ區別ガナイノニ、此モノニ少シモ補償金ヲ與ヘナイデ、一錢一厘モ與ヘナイデ其業ヲ奪ッテシマフコトガ國家ニ於テ出來ルコトデアルカドウカ、私ハ立憲國ハ左樣ナ殘酷ナルモノデナイト思ヒマス、斯ノ如キ殘酷デアルナラバ立憲國程危險ナルモノハナイト私ハ斷言シナケレバナラヌノデアリマス、左樣デアリマスカラ此點ニ付イテハ十分御考ヲ願ヒタイ、立憲國ノ議員タル諸君トシテハ、憫レムベキ小民ガ其職ヲ失ハヌヤウニ——其職ヲ失ッタニ付イテハ、其補償ヲ與ヘルヤウニスルコトハ當然デアルト思ヒマス、終リニ一言致シマスガ、政府ニ於テハ豫テ煙草專賣法ヲ拵ヘテ、ソレデ大抵打切ッタデハナイカ、其後ニ又候斯ウ云フコトガ起ッテハ困ルデヤナイカト、申サレマシタ、成程一ノ議案ヲ制定ヲシマシテ、其後之ヲ改廢スルト云フコトハ、好マシキ狀態デハゴザイマセヌ、好マシキ狀態デハゴザイマセヌガ、諸君、其法律ト云フモノガ不完全デアッタナラバデス、其不完全デアッタノヲ何所マデモ押通サナケレバナラヌト云フ理由ハ何所カラ出テ來ルモノデアラウ、如何ニモ三年前ニ拵ヘタモノデアラウ、三年前ニ拵ヘタ法律デモ惡ルカッタナラバ、修正スルガ當然デハナイカ、ソレ故ニ三年前ニ拵ヘタノダカラ、皆サンガ相談シテ決シタノデアルカラ、今日ノヲ改ムル必要ハナイト云フ議論ハ感服ハ出來ナイ、殊ニ先年拵ヘタ鹽專賣法ノ如キ、今年之ヲ廢スト云フ案モアル、其他改廢ノ法律ハ幾ラモアル、是皆前ニ一旦協賛シタモノデアルガ、其後相當デナイト云フコトヲ發見シタカラ、之ヲ改廢スルノデアル、ソレ故ニ此案モ賣買業者ニ不公平デアッタコトヲ十分ニ御考ニナッタナラバ、何時改正ヲシテモ差支ハナイ、斯ノ如キ次第デアリマスカラ、本案ハ甚ダ誤解ヲ惹起シ其邊ニ於テハ甚ダ困ルデスガ、條理ノ上カラ判斷ヲ下シテ、相當デアルト云フコトノ御考ヲ願ッテ、感情ニ制セラレズ御贊成ヲ願ヒマス、委員會ニ於テ滿場一致ヲ以テ贊成致シタノモ、畢竟之ニ外ナラヌノデアリマス

○議長（杉田定一君）　福井三郎君

○福井三郎君　本員モ委員長ノ報告ニ贊成スル一人デアリマスガ、反對ノ通告ガナケレバ此際止メマスガ、若シ反對ノ演說ガアリマシタナレバ、續イテ尚贊成ノ意見ヲ述ベヤウト思ヒマス

○議長（杉田定一君）　反對ノ通告ガアリマス

○福井三郎君　然レバ反對ノ演說ヲ承ハルコトニ致シマセウ

○議長（杉田定一君）　長晴登君

（長晴登君登壇）

○長晴登君　此問題ハ昨年ノ請願委員會ノ報告ニ依ッテ、本會ニ出タトキニ殆ド滿場一致デ否決シタ問題故、本年斯ノ如キコトガ出テ來ルト云フハ、本員ノ豫想外トスルトコロデアル、一體此問題ハ既ニ政府デモ一通リ處分濟ニナッテ居ルノデ、今更死ンダモノヲ活カシテ問題ニスルト云フハ、餘程ノ物好キデ、實ハ怪シカラヌ話デアル（「ノウ〳〵」）元來是ニ對シテハ轉業ノ途ガアッテ、別段ニ損害ニハナッテ居ラヌ、今日困難ニ陷ッテ居ルト云フハ、他ノ事情カラ出テ居ルノデ、決シテ是ガタメデハナイ、宮古君ハ損害ガアレバ政府ガ賠償スベキ責ガアルト云フ議論デアルガ、煙草問題ニ對シテハ損害ガアルカラ、辨償ヲスルト云フコトハ認メテ居ラヌ、煙草ノ耕作業ノ如キモ或程度ニ於テ制限ヲシ、又或ル程度ニ於テ禁止シテ居ル、而シテ此耕作モ先祖傳來ノ利益ノアルモノデアル、併シ他ノ植物ヲ植エテ耕作ガ出來ルカラ——換ヘルコトガ出來ルカラト云フ理由デ、是ニ對シテモ交附金ヲヤッテ居ラヌデ、制限若クハ禁止ヲシテ居ル、是ハ程度ノ問題デ吾々ハ此問題モ同一程度ノ問題ト認メテ居ル、又此法律案ノ上デ云ヘバ政府ハ一定ノ販賣業者ニ向ッテ、交附金ヲ出スト云フコトニナッテ居ルガ、是ハ以テノ外カノコトデアッテ（ノウ〳〵）即チ此中ニ於テ重ナルモノハ何デアルカト云ヘバ、江副商店ノ如キモノデアラウ（ノウ〳〵）彼ハ既ニ其當時滿洲ニ於ケル輸出煙草ノ一手販賣ハ勿論、韓國ニ於ケルモノ、又ハ外國ヨリ輸入スルトコロノ葉煙草ニ對シテ輸入商トナリ、政府ノ手先トナッテ、相當ノ利益ヲ取ッテ、其業務ヲ繼承シテ居ル（ノウ〳〵）然ルニ是ニ對シテ交附金ヲヤルト云フノハ實ニ杜撰極マル話デ、是ニ對シテハ如何ハシイ風說アルノミナラズ（ノウ〳〵）當業者ト手數料ノ契約マデシテアルト云フ、實ニ怪シカラヌ問題デアリマス（ノウ〳〵）故ニ本案ハ全會一致ヲ以テ否決セラレンコトヲ希望致シマス

（福井三郎君登壇）

○福井三郎君　本員ハ別段本案ニ向ッテ、贊成ノ意見ヲ演壇ニ登ッテマデ述ベヌ積リデゴザイマシタケレドモ、長君ヨリ唯今意外ナル反對ノ御演說ヲ拜聽致シマシタカラシテ、已ムヲ得ズ長君挑發ニ依ッテ玆ニ立タザルヲ得ナイコトニナリマシタ、贊成ノ趣意ハ大體宮古君ヨリ丁寧ニ辯ゼラレマシタカラ、重ネテソレヲ繰返ス必要ハゴザイマセヌガ、長君ノ言ハレタ一二、竝ニ政府ノ反對ヲスル一二ニ向ッテ批評ヲ試ミ、諸君ノ清聽ヲ瀆シマスル、長君ノ言ハル、ニ、去年一旦議場ニ現ハレテ全會一致デ否決シタ問題デアルカラ云々ト云フ、ソレハサウデアッタカモ知リマセヌガ、ソレガ再ビ出タトコロデ、何等ノ差支ハナイ、今年デ吾々ガ常識ヲ以テ判斷スレバ宜シイ、昨年全會一致ヲ以テ贊成シタ問題デモ今年否決セラルヽト同樣デアルカラ、之ヲ以テ別段反對ノ御理由トハナリマセヌト思ヒマス、故ニ是ニハ別段ニ力ヲ籠メテ辯駁ハ致シマセヌ、又次ニ一旦決定シタ事柄デアルト言ハルヽガ、是ハ政府委員ノ言ハレタコトヲ繰返サレタニ過ギナイ、一旦決シタコトヲ再ビ改ムルハ朝令暮改デアルト言フケレドモ、是ハ過ッテ改ムルニ憚リ勿レト云フコトヲ御存ジナイノデアル、非ヲ知ッタナラバ何時デモ改メテ宜シイ、却テ長君ノ言ハル、如キコソ、非ヲ改ムルニ吝ナルヲ偶〻以テ表明スルニ過ギヌト云フモノデアッテ、是ハ取ルニ足ラヌコトデ、本員ハ感服ヲ能ウ致サヌトコロデアリマス、ソレカラ第二ニ賣買業者ガ困難シテ居ルハ、業ヲ取上ゲマシタガタメニアラズ、他ニ理由ガアルト云フコトデアル、ソレナラバ其理由ハ斯ウデアルト具體的ニ承ハリタカッタガ、不幸ニシテ其理由ヲ承ハラナカッタ、ソレガ故ニ別段ニ反對スル辭モナイ、本員ハ完ク困難ヲシテ居ルハ業ヲ取上ゲマシタニ起因シテ居ルト信ジテ居ル、而シテ本員ガ委員ノ一人トシテ贊成ヲシタノハ、單ニ困ッテ居ルト云フ情實デハナイ、慥ナ理由ガアル（「運動ダラウ」ト呼フ者アリ）否ナ、運動ニモアラズ、併シ正シキ運動ナラバ、吾々ハ、耳ヲ藉シテ憚リナク聽クノデアル運動ニ耳ヲ傾ケルコトヲ忌ム人ハ、偶〻以テ疑ハシキヲ問ハント思フマデノ話デアル、身自ラ省ミテ疚シキ所ガ無カッタナラバ、滿場ノ傍聽者ニ耳ヲ藉シテ運動ヲ聽イテモ差支ナイ、次ニ意外ナル風說ガアッタト言ハレタガ、意外ナル風說ガアッタト云フガ如キハ此問題ヲ議場ニ於テ中傷セラレルノデアル、取リモ直サズ多クノ議員ニ惡感ヲ懷カシテ、此問題ヲ暗殺スルノデアル、此ノ如キコトハ士君子ノ議論デナイ、平生ノ長君ニ不似合デアル長君ガ何故ニ斯ノ如キコトヲ言ハレタカ、實ニ怪訝ニ堪ヘヌ、成程去ル三十七年ノ議場ニ煙草專賣法案ガ初メテ議場ニ現ハレマシタトキニハ、世呼ンデ「ニコチン」問題ト云ウタ程デアッタガ、ソレハ偶〻キタナイ人ガゴザイマシタナラバ、其人ガキタナカッタノデゴザイマセウ、議場ハ神聖デ、決シテキタナクハアリマセヌ、斯ク云フ本員ナドハ議員タルノ天職ヲ盡スニ於テ

ハ自ラ省ミテ疚シキコトガ無イカラ、少シモ此ニ之ヲ公言シテ憚ラナイ、又諸君モ共ニ少シモ左樣ナ風說ノアルト否トニ心ヲ動カサレハ爲サレマイト思フ、若シ怪シキコトアリトナラバ、明カニ其事實ヲ擧ゲテ示サレタイ、然ラザレバ卽チ長君ガ故意ニ問題ヲ中傷セラルヽノ嫌ガアル、故ニ本員ハ之ヲ一言シテ置キマス、又政府委員ガ委員會ニ於テモ此議場ニ於テモ反對セラルヽ理由ハ、極メテ簡單デアル、此問題ハ既往兩三年前請願委員會ニ現ハレ、請願委員會ハ何時モ政府委員ノ出席ヲ求メ、再三再四同ジコトヲ調査シタ問題デアリマスカラ、本員ナドハ極メテ能ク事實ヲ知ッテ居リマス（恆松隆慶君「簡單」ト呼フ）簡單デハアリマセヌ、極メテ丁寧ニ辯ジナケレバナラヌ問題デアリマス、恆松君ハ少シ辛抱シテ御聽キナサイ、政府ガ反對ノ理由トスルトコロハ、唯轉業ノ難易ト云フコトノ一點張デアル、ソレカラモウ一ツハ今長君ノ言ッタ如ク、一旦極メタコトデアルカラ、今改メルコトハイケナイト云フノデアリマス、此轉業ノ難易ト云フコトハ政府ハ自家撞著デアラウト思フ、後先キノ見當違ヒヲシテ居ルノデアルト思フ、轉業トハ何ヲ意味スルノデアルカ、先ヘ移ッテ行ク業ヲ云フノデアリマセウ、後ヘ置イテ來ル業ハムツカシカラウト易カラウト、ソレハ問フトコロデナイ、轉業トハ卽チ業ヲ轉ジテ行クノデアルカラ、是カラ先ヘ移ッテ行クトコロノ業ヲ云フノデアルカラ、先ヘ移ッテ行ク業ノタメニハ製造業者ガ素人デアルト同時ニ、葉煙草賣買業者モ素人デアル、葉煙草賣買業者ノ經驗ヲ以テ直チニ何業ニ移シテ應用サレマスカ、製造業者ノ經驗ヲ以テ直チニ應用セラル、業ナシト認メテ、困難ダト云ッテ交附金ヲ與ヘル道理ガ生ジタナラバ、獨リ葉煙草賣買業者ノミガ、其經驗ヲ移シテ何業ニ移ッテモ直チニ出來ルト云フ道理ハナイ、是ハ取リモ直サズ政府ガ轉業ノ難易ト云フコトヲ先ニ移ッテ行クコトニ思及バズシテ、後ニ殘シテ置クトコロノ業トノミ考ヘテ、難易ヲ論ズルハ、要スルニ耳ヲ問ハレテ鼻ヲ答フルノデアル、所謂見當違ヒト言ハナケレバナラヌ、論ジテ玆ニ至レバ政府ノ論據ハ破レタノデアル、法律上ノ理窟ハ他ノ諸君ガ辯ゼラレマシタカラ、ソレ以上ノコトハ辯ジマセヌガ、先ッ理窟ハソンナコトデ大抵政府ノ反對ノ論據ハ破レタト思フ、ソレカラ一旦極メタコトデアルカラ今又改メルノハ朝令暮改デ能クナイト云フコトデアルガ、ソレハ心配ニ及バナイ、間違ッタナラバ幾百回改メテモ宜イ、ソヲ改メルニ政府ノ吝ナルニハ、吾ミハ常ニ慨嘆スルノデアル、故ニ改メラレンコトヲ希望スルノデアル、又終リニ臨ンデ玆ニ一言シテ置キマスガ、轉業ノ難易ト云フコトヲ言ハル、中ニ共事ハ根柢カラ崩レテ居ルカラ、ドウデモ宜イガ、其中ニ製造業ハ大層ムツカシイケレドモ、葉煙草業者ハ極メテ易イ、恰モ鹽煎餅屋ガ燒甘藷屋ニナルト同ジアルト言ハレタガ、鹽煎餅屋ガ燒甘藷屋ニナルノデモ、鹽煎餅ノ經驗ヲ以テ直チニ燒甘藷屋ヲ開始スルト云フコトハ出來ナイ、殊ニ易イト云フ事實ノ辯明ニ於テ、葉煙草賣買業者ナルモノハ、此煙草ハ何程ト云フ政府ノ正札ノ付ケテ居ル、葉煙草ヲ、政府ノ收納所カラ取下ゲテ製造業者ヘ持ッテ行クノデ、途中ノ仲次デ申セバ八足ニモ均シイ、小使ニモ均シイモノデアル、目ガ明イテサヘ居ッタナラバ、子供デモ出來ル、何等ノ經驗智識ヲ要サヌト言ハレタガ、成程サウ考ヘテ見レバ、サウカモ知レマセヌガ、元來葉煙草專賣法ハ我國ニ何時頃カラ行ハレタモノデアリマスカ、想フニ日本ノ開闢二千五百年以來行ハレテ居ルモノデハナイ、確カ之ガ行ハレマシタノハ二十九年カラト思フ、漸ク十年カ十數年ノ年限シカ經テ居ラナイ然ラバ政府ガ煙草ニ正札ヲ付ケタノハ、極メテ最近ノコトデアル、煙草ガ日本ニ始ッタノハ天文ノ十一年頃デアッタト思フ、此所ニ年契ヲ所持シテ居ラヌカラ、何百年カ分ラナイガ、少ナクモ二百五十年ヤ四百年ハ經テ居ル、サウスルト葉煙草ノ賣買ハ此頃カラ始ッタモノト思フ、故ニ正札付ノ品ヲ賣買スルニ至ッタノハ、葉煙草專賣法ノ制定以來僅カニ十數年ノコトデアッテ、實ハ多クノ經驗知識ヲ要スル商買ヲ簑裘ノ業トシテ遠キ者ノ其父祖ヨリ繼承シタノデアル、決シテ政府ノ言フガ如キ經驗ヲ要セザル易々タル業デハナイ詰リ政府ノ論據ハ皆崩レテ、僅カニ一ツノ之ヲ今改正スルノハ朝令暮改ダヤト云フコトダケデアル、ソレダケナラバ非ヲ覺ッテ改メルニ何ノ差支モナイマルデ議論ニハナラヌ、吾ミハ委員會ニ於テ政府ハ贊成ノ理由ヲ述ベテ、反對ノ結論ヲスルノデアル、理由ト結論ガ違フト言ウテ置イタガ、政府モ多少覺ラレタデアラウト思フ、又此問題ガキタナイトカ、イヤナ風說ガアルトカ云フノハ、自ラ疚シキモノ自ラ疑フノデアル、神聖ナル此議場ニ於テ公正ナル議員ノ顧慮スベキコトデナイ、若シ又世間ニ左樣ナル風說アリトスレバ、尙更進ンデ公平ナル斷案ヲ下シテ、世人ノ迷ヲ解カネバナラヌ、斯ル風說位ニ惑ッテ是非ノ審議サヘ避ケルトハ議院自ラガ我神聖ヲ疑フノデアル、本員ハ此ニ斷言シマス、不肖ナガラ吾ミ委員ニ於テ赤誠ヲ以テ十分ノ調査ヲ致シテ、葉煙草賣買業ガ法律ノ不備ニ依ッテ謂レナキ悲境ニ陷ッテ居ルコト、國家ノ處置ガ之ニ對シテ不公平デアダト云フコトダケハ確認シマシタ、因テ滿場諸君ハ謂レナキ中傷的ノ議論ニ惑フコトナク、此憫レナル失業ノタメニ、否ナ、國家ノ不公平ヲ匡スルガタメニ、委員ノ調査ニ確信ヲ置カレテ、滿場一致ヲ以テ委員長報告通リ御贊成アランコトヲ希望シマス

○恆松隆慶君　討論終結

○議長（杉田定一君）　討論終結ノ動議ニ贊成ガアリマスカ

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○議長（杉田定一君）　定規ノ贊成ガアルト認メマス、討論終結ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　御異議ナイト認メマス、討論ハ終結致シマシタ、採決ヲシマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フ方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者　多數

○議長（杉田定一君）　多數デアリマス、二讀會ヲ開クベシト決議ニナリマシタ

○恆松隆慶君　直チニ開カレンコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君）　恆松君發議ノ通リ直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（杉田定一君）　御異議ナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

○恆松隆慶君　讀會ヲ省略シテ確定シ、貴族院ヘ早ク送ッテ兩院成立ヲ願ヒマス

○議長（杉田定一君）　恆松君ノ發議ノ通リ讀會省略ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（杉田定一君）　御異議ナイト認メマス、委員會ノ修正卽チ委員長ノ報告通リ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（杉田定一君）　御異議ナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

煙草專賣法中改正法律案

確定議

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○議長（杉田定一君）　御異議ナイト認メマス、委員長ノ報告通リ決シマシタ、是ニテ本案ハ確定致シマシタ

（拍手起ル）

○議長（杉田定一君）　日程第五、家祿賞典祿處分ニ關スル法律案、第一讀會、議案ノ朗讀

第五　家祿賞典祿處分ニ關スル法律案（請願委員長提出）　第一讀會

〔書記朗讀〕

家祿賞典祿處分ニ關スル法律案

第一條　明治三十年法律第五十號家祿賞典祿處分法ニ據リ給與ノ願出ニ對シ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二條　前條ノ規定ニ依リ出訴セムトスル者ハ本法施行ノ日ヨリ二箇年以內ニ之ヲ爲スコトヲ得

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長（杉田定一君）　橫井時雄君

（橫井時雄君登壇）

○橫井時雄君　本員ハ請願委員會ノ決議ニ基キ玆ニ此法案ヲ提出致シマス、此法案ノ要旨ハ明治三十年法律第五十號家祿賞典祿處分法ニ依リ既ニ其處分ヲ終リタルモ、其不當處分ニ對スル救濟ノ規定ヲ缺キタルハ法律ノ不備ナルヲ以テ、行政訴訟ヲ提起シ得ルノ途ヲ開クヲ至當ナリト認ムト云フ、此簡單ナル要旨ニ外ナラナイノデアリマスル、抑〻家祿賞典祿ノ處分ハ明治政府ガ各種行政上ノ困難ナル問題ニ遭遇致シマシタガ、其困難ナル問題中ノ一ノ大ナル困難ナ問題デアリマス、封建ヲ廢シ、士族ノ常職ヲ解イテ、而シテ郡縣ノ制ヲ施イタト云フコトハ、四民平等ノ主義ヲ實行シタト云フコトハ、實ニ我國ノ歷史上ニ於ケル千古ノ大事業デアリマス、而シテ此千古ノ大事業ニ際シ、其犧牲トナッタモノハ何デアルカト云フト、卽チ所謂士族ナル一ノ階級デアルノデス、デ此士族ノ階級ニ對スル處分ニ付イテ種々ノ困難ニ遭遇シタト云フコトハ、固ヨリ當然ノコト、言ハナケレバナラヌ、明治政府ハ明治九年太政官布告ノ百二十三號ニ於テ、其現狀ノ儘卽チ現今ノ處置ヲ以テ程度トナシ、如何樣ノ事實アルモ今後一切採用セズト云フ布告ヲ發シマシテ、其以後此家祿ノ處分ニ對シテ種々樣々ノ苦情、種々樣々ノ哀訴歎願ガ出テ參リマシタケレドモ、ソレヲ一切採用セズニ參リマシタガ、ドウシテモ抑ヘ切レズシテ、終ニ明治三十年ノ法律第五十號ト云フモノガ出タノデアリマス、是ハ無論帝國議會ヲ通過シテ、而シテ後ニ法律トナッタモノデアリマス、デ此法律五十號ノ結果トシテ、大藏省ニ於テハ臨時秩祿調査委員ト云フモノガ出來マシテ、而シテ此委員ニ於テ秩祿處分ニ付イテ訴ヘテ來タトコロノ種々樣々ノ調査ヲ致シ、而シテ其調査ノ濟ンダモノヲ、大藏省ノ參事官ノ議ニ付シテ、參事官ノ議ヲ經タ後ニ各省カラ選定シタルトコロノ一種ノ委員會、卽チ司法省、大藏省、內務省、內閣ヨリ選定シタトコロノ其委員會ノ議ニ付シテ、而シテ後ニ內閣ノ議ニ付シテ其處分ヲ斷行シタモノデアリマスルカラ、一ノ行政上ノ處分トシテハ頗ル鄭重ニ鄭重ヲ加ヘタモノト言ハナケレバナラヌ、併ナガラ人間ノ事柄ニ於テ完全無缺ナルコトハナク、又過チノナイト云フ、保證ノ付イタモノハ、此世ノ中ニ一ツモナイ、此ノ如ク鄭重ニ調査シテ、サウシテ、實行シタトコロノ處分ニ付キマシテモ、今日種々樣々ノ不當ヲ鳴シテ居リマシテ、其不當ガ悉ク眞正ノ不當デアルヤ否ヤハ別トシテモ、昨年以來請願委員會ニ提出シテ來ルトコロノ請願ノ數ト云フモノハ、實ニ非常ニ澤山ノモノデアリマス、卽チ此法案ヲ提出スルニ至ッタノモ、玆ニ三十ノ請願ガアリマシテ、其三十ノ請願ニ付イテ此法案ガ出來タノデアル、其三十ノ請願ヲ提出シテ濟ンダアトニ於テ又澤山ノ同一ノ請願ガ出テ居ルカト私ハ記憶シテ居リマス卽チ、京都、兵庫、東京、福島、福岡、鳥取ト云フヤウニ、十五ノ府縣カラシテ、其請願書ハ參ッテ居ルノデアル、ソコデ考ヘテ見レバ他ノ行政處分ニ付キマシテハ、行政裁判所ニ訴ヘテサウシテ最後ノ判決ヲ受ケルト云フ途ガ開イテアル、然ルニ法律第五十號ニ於キマシテハ其途ガ開イテナイノデアルト云フコトハ、此法律ノ一ノ不備ノ點ト言ハナケレバナラヌ、故ニ此最後ノ手段トシテ爰ニ本案ヲ提出シテ、幸ニシテ此法律案ガ兩院ヲ通過シ、御裁可ヲ經ルコトニナリマシタナラバ、ソコデ此王政維新以來非常ナ困難ヲ嘗メツヽ公債證書ヲ家祿ノタメニ貰フト云フコトガ、唯一ノ慰勞トナッテ居ルトコロノ此不幸ナル士族ノ階級ニ向ッテ最後ノ始末ヲ付ケテヤル譯デアルト思ヒマス、或ハ此法案ノ結果ニ付イテ種々ノ杞憂ヲ懷イテ居ル人ガアリマス、其杞憂ト云フモノハ二種アルノデ、其第一ハ今ノ貧乏士族、其貧乏士族ガ其法案ノ通過ヲ見マシタナラバ、忽チ一ツノ空望ヲ懷イテ行政裁判所ニ訴ヘタナラバ、公債證書ガ貰ヘルト云フノデ、今日マデハモウ諦メテ居ルモノガ、又一ツノ空望ヲ懷イテ、サウシテ訴訟デモ起サウカト云フコトニナルノタメニ、無駄ノ費用ヲ費ハス、無駄ナ費用ヲ費スノミナラズ、一種ノ狡猾ナル運動屋ノ手ニ罹ッテ、今デモ困ッテ居ルトコロノ士族ガ、卽チ其運動屋ニ食ハレテシマフヤウニナルカモ知レヌ、是ハ寧ロ通過シナイ方ガ士族ノタメデアラウト云フ說ヲ爲ス人ガアル、又一ツノ杞憂ハ若シ此ノ如キ行政訴訟ノ途ヲ開クニ於テハ、今日ノ行政裁判所ニ於テサヘ既ニ森林ニ關スル訴訟ナドガ澤山殖エテ參リマシタ、タメニドウシテモ役員ノ數ガ足ラズ、事務ガ捗ラヌタメニ大ニ擴張セネバナラヌヤウニナッテ居ルノデアル、ソレニ又秩祿ノ問題ヲ持ッテ來ルヤウニナッタナラバ、非常ナ擴張ヲ要スルノデアル、其タメニハ國庫ノ負擔ヲ增ス譯ニナルカラシテ、是ハ誠ニ無用ナコトデアルト云フコトヲ言フ人ガアリマス、併ナガラ不當處分ヲ訴ヘルト云フコトハ——行政裁判所ヘ訴ヘルト云フコトハ、實ニ是ハ國民ノ一ツノ大事ナル權利デアリマシテ、縱令ヘ訴ベル百件ノ中デ僅ニ二件ホカ其訴ノ理ニ適ッタモノガナイトシマシテモ、其二件ノタメニ是ガ今ノ手續ヲ經ルト云フコトハ、國家トシテ誠ニ至當ナル處置デアルト私ハ考ヘルノデアル、弊害ハ起ッテ來ルカモ知レマセヌケレドモ、今日デモ其弊害ハアルノデアル、卽チ此請願委員會ヘ持ッテ來テイロ〳〵ナ請願書ガ來ル、其中デ秩祿ノ問題ニ關シテハ、最モ熱心ナル請願者ガ出來ルノデアリマス、朝モ晩モ請願委員ノ所ニ訪問シテ熱心ニ訴ヘル、卽チ其爲ニ運動費ガ要ルニ違ヒナイ、若シ運動屋ノ食物ニナルト言ヘバ、今日モサウカモ知レマセヌ、拋ッテ置イテモ食物ニナル、秩祿ノコトニ關シテハ帝國議會ニ訴ルコトガ出來ヌト云フコトニナッテ居レバ卒ザ知ラズ、既ニ訴フルコトガ出來ルトナッテ居ル以上ハ、行政裁判所ニ持ッテ行ッテ訴ヘルモ少シモ違ッタコトハナイ、弊害ガアルトスレバ、今日モ今後モ此法律ガ通過シタ後モ、殆ド選ブトコロガナイト云フ譯デアリマスカラ、第一ノ杞憂ハ殆ド取ルニ足ラヌ、政府ハ初メ法律第五十號ノ通過シタトキニ之ヲ實行スルニ付キマシテハ、一千万圓マデノ公債ハ或ハ發行セネバナラヌト云フ覺悟ヲ以テ之ニ掛ラレテ居ルノデアル、所ガ其實際ハ四十万圓內外デ濟ンデシマッタト云フコトデアリマスカラシテ、既ニ一度ハソレダケノ覺悟ヲ以テ掛ッタ程ノコトデアルノデ、行政裁判所ノ官吏ヲ五人ナリ十人ナリ、今カラ五年若クハ六年或ハ十年ノ間ソレヲ增加シタト云ッテモ其費用ト云フモノハ何程デモナイ、ソレダケノ費用タメニ此大事ナル我國民ノ一部分ノ權利ヲ伸張スルト云フコトデアレバ、私ハ國家ハ喜ンデ其費用ヲ負擔スベキコトデアルト思ヒマス、士ノ常職ヲ解イテ、四民平等ノ主義ヲ實行シタト云フコトハ、諸君ノ前デ申スマデモナイコトデアリマスガ、實ニ我日本帝國ノ今日アル所以ノ基礎ヲ爲シタトコロノモノデアル、士族ハ此政策ノ實行ノタメニ自分ガ幾百年來享有シテ來タトコロノ權利ヲ奪ハレテ、其犧牲ニ甘ンジテ國家ノタメニ供セラレタモノデアリマス、之ヲ慰勞スル途ハ曩ニモ申上ゲマシタ通リ僅バカリノ公債ヲ給與スルコトヨリ外ニ何ニモ慰勞スル途ハナイ、事情已ムヲ得ザルコトガアルト云フノハ、卽チ

九年ニ一遍打切ッテシマッタノガ、又三十年ニ持上ッテ來テ、ソレガ問題トナッテ再ビ調査スルト云フコトニナッタ　モノデアリマス、今日ハモウ既ニ三十年ノ法律第五十號ノ結果ニ依ッテ、行政處分トシテ最後ノ處分モ經タノデアル、此以上望ムノデハナイ、唯其裁判ノ結果ニ對シテ不當ト認メタモノハ行政裁判所ニ訴ヘルコトガ出來ルト云フ途ヲ開イテヤルト云フコトデアリマスノデ、不足ガアル、洩ガアル、不當デアルト云フヤウナモノガアルナラバ、最後ノ途ヲ開イテヤル、是ヨリ外ニ國家ハ人民ノ權利ヲ保護シ、此權利ヲ伸張スル途ハナイト云フ所ヲ此法律案ニ依ッテシテヤルノデアリマス、是デ全ク御仕舞デアル、此途ヲ開イタナラバ、今後ハモウ諸君ヲ煩ハスコトハナイヤウニナッテシマフノデアル、首尾能ク明治政府ノ大ナル難問題デアッタトコロノ士族ノ秩祿處分ト云フモノガ、是デ片付イテシマフノデアル、我新日本ノ犧牲タル士族ノ始末ガ是デ付ク、今日ノ明治四十年ノ盛大ナル我日本帝國ノ運命ニ浴シテ居ルトコロノ吾々ガ、此ノ爲メニ犧牲ニナッタトコロノ少數ノ憐レナ者ヲ保護シテヤラナイト云フ譯ハ私ハナイト考ヘル、私ハ諸君ガ必ズ滿場一致ヲ以テ此法案ノ通過サレルコトヲ深ク信ズルモノデアリマス、終リニ臨ンデ一言致シマスルガ、此法案ハ請願委員會ニ於キマシテ議題トナリマシテ、分科會ノ調査ニ附シテ、分科會ニ於キマシテハ、更ニ特別委員ヲ設ケテ此法案ヲ起草シテ、而シテ又請願委員會ノ本會ニ於テ可決シタモノデアリマス、ソレデドウカ直チニ委員付託ニナリマセズシテ、第二讀會ヲ御開キ下スッテ、審議ノ末成ルベク御可決アランコトヲ希望致スノデアリマス

○古賀庸藏君　私ハ唯今問題ニナリマシタ家祿賞典祿處分ニ關スル法律案ノ議事ノ進行上ニ付イテ動議ヲ起シマス、ソレハ外デハゴザイマセヌガ、此案ハ至極簡單ナル法律案ニシマシテ、且又一昨年ニ於テハ斯ノ如キ案ガ衆議院ノ提出案トナッテ、其際滿場一致ヲ以テ通過シタコトモアリマス、加之此度ハ請願委員會ニ於テ四十五名ノ請願委員ガ一致シテ丁寧反覆之ヲ審査ヲシ、且政府委員ノ意見ヲ十分質シテ、玆ニ至ッタモノデアルカラシテ、通常法律案ヲ議スル形式ヲ省キマシテ、卽時決定サレンコトヲ希望スル

〔「贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○恆松隆慶君　直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔「反對」ト呼フ者アリ〕

〔恆松隆慶君「反對ハ少數ダ」ト呼フ〕

○議長（杉田定一君）　採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クト云フニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔議長（杉田定一君）「反對ハ少數ダ」ト呼フ〕

起立者　多數

○議長（杉田定一君）　多數デアリマス、二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○恆松隆慶君　直チニ開カレンコトヲ望ミマス、讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君）　直チニ二讀會ヲ開キ讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（杉田定一君）　御異議ガナイト認メマス

確定議

○森肇君　私ハ此案ニ對シテ一ソノ修正ヲシタイ點ガアリマス、ソレハ此附則ニナッテ居リマストコロニ「本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」トナッテ居リマス、然ルニ會期ハ最早切迫シテ此四月一日ヨリ施行期限ヲ附シテ置キマシテハ、甚ダ法律公布ノ上ニ差支ヲ生ズルト信ジマス、卽チ此案ハ尚貴族院ニ送附シナケレバナリマセヌ、又貴族院ガ幸ニ之ヲ可決シテモ政府ヲ經テ奏上シナケレバナラヌ、奏上手續ノ結果ニ依ッテ公布ヲスル場合ニナッテ居ルノデゴザイマスカラ、此施行期限ハ宜シク七月一日ヨリト云フコトニシテ、卽チ「四月」ノ「四」ノ字ヲ「七」ト云フ字ニ改メタイノデアリマス、是ハ卽チ滿場諸君ノ同意ヲ得タイノデアリマス

〔「贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○議長（杉田定一君）　定規ノ贊成ガアリマスカ

〔「贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○議長（杉田定一君）　定規ノ贊成ガアルト認メマス

〔望月長夫君「施行期限ヲ削除スレバ其心配ガナクナル」ト呼フ〕

○議長（杉田定一君）　別段御議論モナイヤウデアリマスルデ、採決ヲ致シマス、森肇君ノ明治四十年四月ト云フ「四」ノ字ヲ「七」卽チ「七月」ト修正ヲスルト云フ修正ヲ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（杉田定一君）　御異議ガナイト認メマス、其通リ決シマシタ、其他第一條第二條ハ原案ノ通リ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（杉田定一君）　御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ

〔拍手起ル〕

○藤崎朋之君　緊急動議ヲ提出致シマシタ、議事日程ノ變更ヲ求メマス、サウシテ其理由ヲ續イテ陳述致シタウゴザイマス

〔「登壇」ト呼フ者アリ〕

〔藤崎朋之君登壇〕

○藤崎朋之君　諸君、本院ノ體面ニ關シテ調査委員ヲ設ケルト云フノ緊急動議ヲ提出致シマシテ、之ガタメニ議事日程ノ變更ヲ求メマス、其事實タルヤ卽チ同僚議員諸君ノ中ニ慥ニ本院ノ體面ニ關スルガ如キ記事ヲ掲ゲラレテ居ルトコロノ諸君ノアルコトヲ發見シマシタノデアリマス、ソレハやまと新聞ト申シマスル新聞ニ、本月九日以後續ミト記載ニナッテ居リマス、此事實ハ諸君ノ中ニハ十分御承知ノ御方モアリマセウ然レドモ之ヲ一々朗讀致シマスルノハ、極メテ無益ナコト、又却ッテソレヲ欲シナイ事情ガアルノデアリマス、故ニ唯此記事中ニ掲ゲテアル人ノ姓名ヲ擧ゲマスレバ、高梨哲四郎君、尾見濱五郎君、栗原宣太郎君、小山田信藏君、愛澤寧堅君、藻寄鉄五郎君、武藤金吉君、關信之介君、斯ノ如キ同僚議員ノ身上ニ關シマシテ、連日記載ヲ致シマシタ事柄ハ、唯評論的ニハアリマセズシテ、事實ノ敍述ヲ致シテアルノデゴザイマス、而モ其事實ガ御承知ノ通リ、議員保護法ニ依レバ、刑法ノ制裁ヲ適レヌコトデアリマセウシ、的確ニ責任ヲ負ウテ記載シタ事實ニ基イテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ此事ハ正確デアルヤ否ヤト云フコトハ、容易ニ信用スベカラザルコトデアッテ、又吾々個人トシテ、斯ノ如キコトハ寧ロ無根デアレカシト考ヘルノデアリマス、サリナガラ之ヲ此儘ニ差置キマスルトキニハ、頗ル本院ノ體面ニ關スルノミナラズ、マダ續々ト連日掲載スルトコロノ事情ガアリマシテ、其儘ニ拋棄致シマスレバ、殆ド本院ノ威信ト云フモノハ地ニ墮ルコトデアラウト存ジマス（拍手起ル）故ニ本院ノ體面ヲ維持スル上、又或ル方面ニ對シテハ、是等記載セラレタ方々ノ身上ノ寃ヲ雪グベキトコロノ方法ト致シマシテ、適當ナル委員ヲ設ケマシテ、之ガ取調ヲ致スト云フコトハ極メテ必要ナコト、信ジマス、サウシテ斯ノ如キ事柄ハ常ニ吾々ガ耳ニ致シマストコロニ依レバ、現在此演壇ニ立ッテ熱心ノ餘リ、事實ノ議論ヲ致シマシテ

モ、其言動ガ動モスレバ不穩當ナル言動、所謂本會ノ「風紀ヲ損スルトカ、或ハ議員ノ腐敗ヲ論ズルトカ云フコトニ及ボシ、動モスレバ諸君ノ中ニハ本會ノ體面ヲ損スルモノデアルトシテ、是ガ咎メ立テヲ致スガ如キ潔癖ヲ有セラレル議員モ澤山ニ見受ケマス、又本日モ其一人ヲ見受ケマシタガ、何レモ斯ノ如キ清淨ナル諸君ト見マスレバ、此取調ヲ致シマシテ適當ナル解決ヲ求メ、サウシテ本會ノ神聖ヲ保持致スト云フコトハ、他ニ方法ノ無イコトデアラウト信ジマス、故ニ二十八名ノ委員ヲ設ケラレテ、其事實ノ調査ヲ命ゼラレンコトヲ希望致シマス

（拍手起ル）

（「贊成々々」ト呼フ者アリ）

（此時發言ヲ求ムル者多シ）

○議長（杉田定一君）　此緊急動議ニ付イテハ、討論ヲ須井ズ採決スルノデアリマス、日程ヲ變更シ、此緊急動議ヲ議スルト云フコトニ付イテ採決ヲ致シマス、卽チ日程變更ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者多數

○議長（杉田定一君）　多數デアリマス、日程ハ變更セラレ、卽チ緊急動議ガ問題トナリマシタ

○立川雲平君　提出者ニチョット御尋ヲ致シタウゴザイマス、調査ヲスルト云フノハ新聞紙ノ記事ヲ調査スルノデアリマスカ、議員身上ニ付イテ其事實ヲ調査スルト云フコトデアリマスカ

○藤崎朋之君　議員其人ノ身分ヲ調査スルト云フコトデアリマスカ

○立川雲平君　左樣デス

○藤崎朋之君　然ラバ、提出者ハ此新聞ノ記事ヲ全然無根ト信ゼラレテ居ルノデアリマスカ、若クハ唯今ノ御演說ニ依リマスト（「無用々々」ト呼フ者多シ）決シテ人ノ言論ヲ妨害スルト云フコトハイケナイ、本員モ諸君ト共ニ審査ヲシタイノデアリマスカラ、其範圍ヲ確メテ置キタイ、委員ヲ擧ゲマシテ、其委員ハ議員ニバカリ就イテ調ベルノデアルカ、新聞紙ノ記事ガ眞實デアルヤ否ヤト云フコトマデモ御取調ニナル御積リカト云フコトヲ、御尋シタイノデアリマス

○藤崎朋之君　御尋ノ通リ、其事實ニ付イテ、又新聞ノ記事ニ付イテ、取調ベルノデアリマス

○上埜安太郎君　唯今ノ問題ニ付イテ一言辯明シテ置キタイコトガアリマスガ、唯今藤崎君ガやまと新聞ノ……

（「登壇々々」ト呼フ者アリ）

（上埜安太郎君登壇）

○上埜安太郎君　極ク簡單ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、唯今藤崎君ノ緊急動議ニ付イテノコトデアリマスルガ、やまと新聞ノ記事中ニ、是ミノコトガアルト云フコトノ御話デゴザイマシタガ、彼ノやまと新聞ノ記事ニ付キマシテ、本日ノ記事ニハ私ガ彼是ノコトヲシタト云フコトヲ掲載シテアルノデゴザイマス、是ハ全ク無根ノコトデゴザイマシテ、既ニ今朝新聞社迄ハ取消文ヲ送ッテ置イタノデアリマス、唯私ノ遺憾ニ思ヒマスノハ、猶與會ノ諸君ガ、彼ノ新聞ノ記事ヲ信用シテ御出シニナッタノガ、甚ダ私ガ遺憾ニ思フノデアリマス、聊カ此事ヲ辯ジテ置キマス

○長谷場純孝君　今此提出者ニ伺ッテ置キマスガ、委員ノ數ハ十八名ト極リマシタガ、提出者ノ御言葉ノ中ニ、委員ノ選擧方法ハ御述ベニナリマセヌ、例ニ依ッテ議長指名ノ十八名ノ委員ト云フコトデ宜シウゴザイマスカ

○藤崎朋之君　其通リデス

○山口熊野君　私ハ此際ニ於キマシテ、藤崎君ノ動議ハ極メテ必要ナルトコロノ動議ト信ジテ、贊成ヲ致スノデゴザイマス、卽チ藤崎君ノ言ハレタ通リ、議長指名十八名ノ委員ヲ指名セラレンコトヲ希望致シマス

（「議長指名」「選擧ニスヘシ」ト呼フ者アリ）

○森田卓爾君　此委員ハ議長指名ト云フ御意見モアリマスガ、此事ニ付イテハ普通ノ選擧法ニ依ッテ、選擧ヲ致シタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○長谷場純孝君　唯今森田君ノ動議ニハ私ハ反對ノ意見ヲ表シマス、既ニ提出者モ本院ノ凡ソノ慣例ニ依ッテ議長指名ノ十八名ノ委員ト云フコトヲ明言サレ、尙提出者ノ一人ナル山口君モソレヲ贊成セラレタノデアル、殊更ニ此委員ニ限ッテ普通ノ選擧法ヲ用ユルト云フ必要ハナイト思ヒマス

○神崎東藏君　本員モ、議長ノ指名說ニ贊成ヲ致シマス

（「採決々々」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　藤崎君、動議ノ範圍ヲ明瞭ニナルヤウニシテ、御出シニナルヤウニ致シタイ

○望月長夫君　調査セラレル人ヲ極メナケレバイケナイ、卽チ被告ト成ルベキ人ヲ極メナケレバイケナイ、ソレヲ極メナケレバ問題ガ極ラヌ

○藤崎朋之君　唯今ノ御問ハ、ドウ云フコトデアリマスカ

○議長（杉田定一君）　調査ノ範圍デアリマス

（「登壇々々」ト呼フ者アリ）

○長谷場純孝君　人ヲ極メルコトハ、既ニ一度新聞ヲ讀マレタノデ分ッテ居ル、サウ云フコトヲワザワザ再ビ言フ必要ハナイ、一度言ヘバサウ云フコトハ再ビスベキモノデナイ、諸君ノ目ニ皆徹シテ居ルト思フ、速記錄ガ何ヨリノ證據デアル

（望月長夫君「イヤ、明白ニスル必要ガアル」ト呼フ）

○神崎東藏君　委員ノ御指名ニ付イテ注文ガゴザイマス卽チ、藤崎君ガ擧ゲラレタ新聞ニ載ッテ居ル人ミハドウゾ委員ニ御指名ニナラヌヤウニ（笑聲起リ「無論ダ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　採決致シマス

（「新聞ニ載ッテアル人ミハ贊否ノ數ニ這入ッテハイケマセヌ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　藤崎君ノ動議、議長指名十八名ノ委員ヲ設ケテ、彼ノ緊急動議ノ議院ノ體面ニ關スルコトニ付イテ、調査委員ヲ設ケルト云フコロノ動議デアリマス、其動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者多數

○議長（杉田定一君）　大多數デアリマス、藤崎君ノ動議ハ可決セラレマシタ——日程第六、日本水產銀行法案、第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、島津良知君

第六　日本水產銀行法案（川島龍藏君外十二名提出）　第一讀會

（左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ玆ニ掲載ス）

日本水產銀行法案

日本水產銀行法

第一章　總則

第一條　日本水產銀行ハ株式會社トシ其ノ本店ヲ東京市ニ置ク

第二條　日本水產銀行ノ資本金ヲ一千萬圓トス但シ株主總會ノ決議ニ依リ

政府ノ認可ヲ受ケテ資本金ヲ增加スルコトヲ得

第三條　日本水產銀行ノ各株式ノ金額ヲ五十圓トス

第四條　日本水產銀行ノ存立時期ヲ設立免許ノ日ヨリ五十箇年トス但シ株主總會ノ決議ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケテ之ヲ延長スルコトヲ得

第二章　重役

第五條　日本水產銀行ニ總裁一人理事四人監査役三人評議員五人以上ヲ置ク

總裁ハ日本水產銀行ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス

理事ハ總裁ヲ補助シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ日本水產銀行ノ業務ヲ分掌ス

監査役ハ日本水產銀行ノ業務ヲ監査ス

評議員ハ總裁ノ諮詢ニ應シ日本水產銀行ノ業務ヲ審議ス

第六條　總裁ハ百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ三箇年トス

理事ハ百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ選舉シ其ノ任期ヲ三箇年トス

監査役及評議員ハ五十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選舉シ其ノ任期ヲ二箇年トス

第三章　營業

第七條　日本水產銀行ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一　年賦償還ノ方法ニ依リ不動產ヲ抵當トスル貸付

二　定期償還ノ方法ニ依リ不動產又ハ船舶ヲ抵當トスル貸付

三　漁業權ヲ抵當トスル貸付

四　國債證券、地方債證券、社債券又ハ株券ヲ質トスル貸付

五　水產業ニ關スル會社ノ社債券ノ應募又ハ引受

六　爲替荷爲替及水產物ヲ擔保トスル貸付

七　預リ金及保護預リ

八　手形ノ割引

九　水產業ニ關スル信託業務

十　法律ニ依リ設定シタル水產業ニ關スル財團ヲ抵當トスル貸付

前項第八號ノ手形ハ割引依賴人ヨリ水產物又ハ水產業ニ關スル會社ノ株券、債券ヲ擔保ニ供スルモノニ限ル

第八條　日本水產銀行ハ市町村ニ對シ無擔保ニテ年賦若ハ定期償還ノ方法ニ依リ貸付ヲ爲スコトヲ得

漁業組合、水產組合又ハ產業組合ニハ年賦若ハ定期ノ償還方法ニ依リ設立シタル漁業組合、水產組合又ハ產業組合ニハ年賦若ハ定期ノ償還方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

水產業者組合ヲ設ケ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ其ノ信用ノ確實ナルモノニ限リ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

第九條　日本水產銀行ハ營業上餘裕アルトキハ國債證券、地方債證券又ハ社債券ヲ買入レ又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ確實ナル銀行ニ預金ヲ爲スコトヲ得

第十條　日本水產銀行ハ本法ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第十一條　日本水產銀行ハ本法ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第十二條　日本水產銀行ハ第七條第一項第一號乃至第四號、第十號及第八條ノ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テ債務者カ貸付ノ目的ニ反シ貸付金ヲ使用シタルトキハ償還期限前ト雖其ノ貸付金全部ノ償還ヲ要求スルコトヲ得

第四章　準備金

第十三條　日本水產銀行ハ每營業年度準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ八以上ヲ積立テ及利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第五章　政府ノ監督及補助

第十四條　政府ハ日本水產銀行ノ業務ヲ監督ス

第十五條　日本水產銀行ハ其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條　日本水產銀行ニ於テ支店又ハ代理店ヲ設置シ若ハ改廢セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

主務大臣ニ於テ支店又ハ代理店ヲ必要ナリトスルトキハ日本水產銀行ニ命シテ之ヲ設置セシムルコトアルヘシ

第十七條　日本水產銀行ハ株主ニ配當金ノ分配ヲ爲サムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十八條　主務大臣ハ必要ナリト認ムルトキハ日本水產銀行ノ貸付割引ノ金額及方法ヲ制限スルコトヲ得

第十九條　主務大臣ハ日本水產銀行ノ營業上法律命令又ハ定款ニ背戾シ若ハ公益ヲ害スル事件アリト認ムルトキハ之ヲ制止スヘシ

第二十條　日本水產銀行ハ主務大臣ノ命令ニ從ヒ其ノ營業ニ關スル諸般ノ景況及計算報告書ヲ差出スヘシ

第二十一條　政府ハ日本水產銀行監理官ヲ置キ主務大臣ノ指揮ヲ受ケ日本水產銀行ノ業務ヲ監理セシム

第二十二條　日本水產銀行監理官ハ何時ニテモ日本水產銀行ノ金庫、券書庫、帳簿及諸般ノ文書ヲ檢查スルコトヲ得

日本水產銀行監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第二十三條　政府ハ日本水產銀行拂込資本金ニ對シ一箇年百分ノ四ヲ補助スヘシ

第二十四條　前條ニ依リ政府ノ補助年限ハ其ノ設立初季ヨリ十五箇年トス

第六章　罰則

第二十五條　日本水產銀行ニ於テ左ノ事犯アルトキハ總裁及理事ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但シ事犯ニ關セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　第十一條ノ規定ニ反シ本法ニ記載セサル業務ヲ營ミタルトキ

二　本法ニ於テ認可ヲ受クヘキ場合ニ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

附則

第二十六條　日本水產銀行設立發起人ハ設立委員十五名ヲ選舉シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第二十七條　設立委員ハ定款ヲ作リ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル後株主ヲ募集ス

第二十八條　設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ主務大臣ニ提出シ銀行設立ノ認可ヲ眞請スヘシ

前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク各株式ニ付第一回ノ拂

込ヲ爲サシムルコトヲ要ス

第二十九條　創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ日本水產銀行總裁ニ引渡スヘシ

第三十條　日本水產銀行ニ關シ本法ニ規定セサル事項ハ明治二十三年法律第七十二號銀行條例ヲ適用ス

（島津良知君登壇）

○島津良知君　私ハ此提出者ノ一人ト致シマシテ、本案提出ノ理由ヲ一言辯ジテ置カウト考ヘマス、諸君、此水產銀行ノ設立ニ付キマシテハ、一昨年ノ議會ニ於キマシテ、森君ヨリ建議ガ提出ニナッタノデゴザリマス、其建議案ノ中ニハ、翌年度ノ議會ニ、政府ハ案ヲ具シテ提出ニナルヤウニト云フコトガ記シテゴザリマシタガ、政府ハ此水產銀行ヲ設立スルト云フコトニ付イテハ、同意デゴザリマスケレドモ、翌年ノ議會ニ之ヲ提出スルト云フコトハ、條件附ノ提出ハ贊成ガ出來ナイト云フコトデ、遂ニ此事ハ修正ヲ致シテ、本場ノ可決スルトコロト成ッタノデアリマスル、其後吾々ハ此銀行ノ設立ヲ致シマスルトコロノ材料ノ調査モ致シテ見マスルシ、又一面ニハ政府ノ方ニモイロ〳〵交涉ヲ致シマシタガ、政府デハ遺憾ニモ、今日マデ調査ガ未定ト云フヤウナ都合デ、提出ニナラヌノデゴザリマスル、是レ已ムヲ得ズ、私ナドガ同志相計リマシテ、此提案ヲ致シマシタ譯デゴザリマスル、而シテ此水產業ノ發達ヲ圖ルト云フコトニ付キマシテハ、私ガ此處デ諄々シク申上ゲルマデモナク、諸君ガ最早其邊ノコトハ御承知デゴザリマスルカラ、詳シイ點ハ――我々ノ調査ノ詳シイ點ハ、委員會ニ讓ルノ積リデゴザイマスケレドモ、唯大要ダケ玆ニ述ベ置カウト考ヘマス、此我國ノ產業ノ發展上ニ付キマシテ、水產ノ發展ト云フモノハ、如何ナル程度ニ進ンデ居ルカト申シマスレバ、マダ〳〵非常ナ私ナドハ、幼稚ト云フコトヲ認メテ居ルノデゴザイマス、其一例ヲ擧ゲマスルト、今歐米諸國ノ方ノ取調ヲ致シテ見マスレバ、獨逸ノ國ニ於キマシテハ、一人前ノ收獲高ガ九百五十八圓ト云フコトニナッテ居リマスルガ、英吉利ハ一人前ガ八百四十一圓、亞米利加ハ四百七十二圓ト云フ此巨額ニ上ッテ居リマスルガ、日本ノ漁夫ノ一人前ノ收獲ハ凡ソ十八圓デゴザリマス、收獲ノ少ナイト云フ原因ハ、イヅレ漁撈ノ不進歩、製造ノ幼稚ナル點ニ基キマスルト私ハ認メマスル、然ルニ此漁撈方法ノ不進歩、或ハ製造方法ノ幼稚ナルト云フモノハ、全ク資金ノ運轉ノ如何ニアルコトデゴザリマシテ、全ク此資金ノ缺乏ノタメニ、改良スベキコトモ改良ガ出來ナイト、斯ウ云フヤウナ有樣デアラウト考ヘマスル、今陸上ノ產業ニ至リマシテハ、勸業銀行ヤ、農工銀行ノイロ〳〵機關ガゴザイマシテ、ソレ〳〵發達ノ途モ付イテ居リマスルガ、ドウモ水產ノ方ニナリマシテハ、一ツモ機關ガゴザイマセヌ、是レドウシテモ我邦ノ地勢上一日モ缺ク可カラズト云フトコロノ吾々ハ見込ヲ付ケマシテ、此案ヲ提出致シタ譯デゴザイマスルカラ、ドウカ諸君ニ於テモ、願クハ滿場ノ贊成ヲ得タイト只管希望スル次第デゴザイマス尙詳細ノコトハ、是ハイロ〳〵數字ノ調モゴザイマスルケレドモ、イヅレ委員會ニ於テ申上ゲルヤウニ致シマス

○恆松隆慶君　本案ハ十八名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス、議長指名デゴザイマス

○議長（杉田定一君）　採決ヲシマス、恆松君ノ發議ノ通、本案ヲ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　御異議ナイト認メマス、日程第七、漁業法中改正法律案、第一讀會、議案朗讀

第七　漁業法中改正法律案（川島瀧藏君外十二名提出）　第一讀會

（書記朗讀）

漁業法中改正法律案

漁業法中左ノ通改正ス

第七條　漁業權ハ相續、讓渡、共有、貸付、抵當權、國稅滯納處分及强制執行ノ目的タルノ外權利ノ目的タルコトヲ得ス

漁業權及抵當權ノ設定、變更、移轉、消滅及處分ノ制限ハ主務官廳ニ請求シ其ノ登錄ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

（川島瀧藏君登壇）

○川島瀧藏君　諸君、此漁業法中ノ第七條ヲ改正致シマスルノハ、極メテ簡單ナ案デアリアスル、ソレハ從來ハ相續、讓渡、共有、貸付、此四點ガ權利ヲ與ヘラレテアリマシタガ、尙此上抵當權、國稅滯納處分及强制執行ノ目的ト云フヤウナモノニマデ充テマスレバ、且漁業權及抵當權、決定ノ途ヲ開キ第三者ニ對シマシテノ權利ガ確マレバ、金融上ニハ至極都合ガ宜イコトニナリマスルノデアリマス、ソレ故ニ斯樣ナ修正ヲ致シマス、前席ニ島津君カラ述ベラレタトコロノ水產銀行ノ方ガ可決致シマスレバ、斯樣ナモノハ其聯關シタル結果ト致シテ至極必要ナコトデアラウト存ジマス、委細ノコトハ委員會ニ於テ詳細ニ述ベルコトニ致シマス、大體ハ左樣ナ趣旨デゴザイマスカラ、滿場ノ御贊成ヲ得タイモノデゴザイマス

○恆松隆慶君　本案ハ前ニ極リマシタ日本水產銀行ト云フ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君）　恆松君發議ノ通、本案ヲ日程第六ノ委員ニ付託スルト云フニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　御異議ナイト認メマス――日程第八、鑛業法中改正法律案、第一讀會、議案朗讀

第八　鑛業法中改正法律案（丸山鏆峨一郎君外一名提出）　第一讀會

（書記朗讀）

鑛業法中改正法律案

鑛業法中左ノ通改正ス

第二條ニ左ノ一項ヲ加フ

石油層中ニ含蓄セル可燃質天然瓦斯ハ之ヲ石油ト看做ス但シ工業用其ノ他ノ營利ヲ目的トセスシテ單ニ自家用ニ供スルモノニハ本法ヲ適用セス

第百二十條　明治三十九年十二月三十一日以前ヨリ引續キ第二條第二項ノ可燃質天然瓦斯ヲ採掘スルモノニシテ明治四十年七月三十一日迄ニ其ノ鑛物採掘ノ許可ヲ出願スルトキハ其ノ掘採區域ニ限リ第三十一條、第三十三條及鑛區ノ面積ニ關スル第九條ノ規定ニ拘ラス許可ヲ與フヘシ前項ノ掘採者ニシテ明治四十年七月三十一日迄ニ其ノ許可ヲ出願シタルトキハ其ノ處分ノ日迄本法ノ規定ニ拘ラス其ノ掘採ヲ繼續スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ出願シ得ヘキ區域ハ其ノ坑井ノ屬スル土地一筆ヲ限リトス

第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ得タル區域ノ面積五千坪未滿ナル場合ニ於テ

ハ其ノ特許ハ七箇年ヲ經過シタルトキハ消滅ス

第百二十一條　前條ノ規定ニ依ル採掘權設定ノ登錄ニ付テハ登錄稅ヲ免除ス

〔丸山嵯峨一郎君登壇〕

○丸山嵯峨一郎君　諸君、本案ハ只今朗讀シタ通デアリマシテ、可燃質天然瓦斯ノ利用ガ近頃ニ至リマシテ、最モ注目スベキ價ヲ生ジテ參リマシタノデ、之ヲ鑛業法ヲ以テ保護スベキ必要ガ生ジタノデ、ソレト同時ニ從來此瓦斯ヲ利用シテ來タモノ、又之ニ關係ヲシテ自家用ニ供シ來ッタルモノニ對シマシテモ、多少ノ注意ヲ拂ハンケレバナラヌノデアリマスカラ、茲ニ此改正案ヲ提出シタ次第デアリマス、豫テ御承知ノ通、水鉛重石ナドノ鑛物ガ發見サレマシタル時分ニ、其利益ヲ保護スルタメニ規定サレマシタ條文ガアリマスルノデ、其規定ノ例ニ倣ヒマシテ百二十條、百二十一條ト云フモノヲ設ケルノデアリマス、宜シク御贊成ヲ願ヒタイ、尙委員會ノ節ニ詳シイ御話ヲ致シマス

○恆松隆慶君　本案ハ九名ノ委員、議長指名アランコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君）　恆松君發議ノ通、九名ノ委員議長指名ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（杉田定一君）　御異議ナイト認メマス――日程第九、府縣制中改正法律案第一讀會、議案朗讀

第九　府縣制中改正法律案（植場平君外三名提出）　第一讀會

〔書記朗讀〕

府縣制中改正法律案

府縣制中左ノ通改正ス

第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

府縣會議員ハ府縣ノ人口五十萬未滿ハ議員三十五人ヲ以テ定員トシ五十萬以上百萬未滿ハ五萬ヲ加フル每ニ一人ヲ增シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル每ニ一人ヲ增ス

第六條第一項ヲ左ノ如ク改ム

府縣內ノ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選擧權ヲ有シ且其ノ府縣內ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ選擧權及被選擧權ヲ有ス

同條第二項ヲ削ル

第五十條第三項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ其ノ開會中緊急ヲ要スル事件アルトキハ直ニ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第六十九條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

府縣參事會ハ必要ト認ムルトキハ實地ヲ調査スルコトヲ得

附則

此ノ法律ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ選擧ニ關スル條規ハ次ノ總選擧ヨリ之ヲ施行ス

〔植場平君登壇〕

○植場平君　諸君御承知ノ通、現行ノ府縣制ハ二十二年ニ發布ニナリマシテ、殆ド一ト昔ヲ經マシタノデゴザイマスガ、此間ノ經驗ニ徵シマシテ、今回提出致シマシタトコロノ改正ノ必要ヲ感ジマシタノデゴザイマス、茲ニ此改正ノ趣旨ヲ極メテ簡單ニ申述ベタイト存ジマス、凡ソ代議機關ノ定員ヲ定メマスルニハ議事ノ案件、及人口等ヲ標準ト致スト云フコトハ議論ノナイコトデアル、然ルニ此府縣制ノ定員ヲ見マスルト、下級團體ノ市町村制ノ定員ヨリ少ナキニ失シテ居ルト云フ感ジガアルノデアリマス、故ニ之ヲ改正致シマシテ、現行ノ七十万マデハ三十八人ト定メテゴザイマスルヲ、卽チ七十万ト云フ文字ヲ五十万ト改メマシテ、サウシテ三十八人ト云フ定員ヲ二十五人ニ致シタイ、而シテ五十万以上百万マデハ五万ヲ加ヘル每ニト云フコトハ現行ト同ジコト、又百万以上ハ七万ヲ加ヘル每ニ一人ヲ加フト云フコトモ現行ト同ジコトデアリマス、其次ハ此六條ノ第一項ノ修正デゴザイマスガ、是ハ被選擧權ノ擴張デアリマス、現行法ニ依リマスト、被選擧權ヲ有スルモノハ國稅ヲ十圓納メナケレバナラナイト云フコトニナッテ居ル、之ヲ選擧權ト同樣ニ引下ゲマシテ、卽チ擴張致シマシテ、二圓ト云フコトニ改メタイ、ソレデ選擧權モ被選擧權モ通ジテ二圓ト云フコトニ致シタイト、斯ウ云フノガ修正ノ趣意デアリマス、ソレカラ其次ハ五十條ノ第三項ノ但書ヲ改メマシタノデアリマスガ、是ハ臨時會ノ關係デアリマス、現行法ニ依リマスト、臨時會ニ於キマシテハ知事ガ提案ヲ致サレマシタ、卽チ特定ノ法案ノ外ニ如何ニ緊急ヲ要スル事柄ガゴザイマシテモ、建議ヲナスコトモ許シマセズ、意見書ヲ出スコトヲ許サヌト云フコトニナッテ居ル、獨リ知事ハ其會期中ニ緊急ヲ要スル事項ガアレバ何時デモ附議スルト云フコトヲ許シテ居ラルヽノデアリマス、故ニ議員ニ於テモ府縣知事ト同樣ナ權限ヲ與ヘラレ、卽チ權限ヲ擴張シテ其會期中デアルナレバ、府縣ノ公益ニ關係スル卽チ緊急ノ要件ヲ見出シマシタトキハ、何時ニテモ建議ヲシ、或ハ意見書ヲ提出スルト云フコトニ致シタイト云フ趣意デ、此修正ヲ致スノデアリマス、其次ハ六十九條第二項ノ次ヘ持ッテ參ッテ一項ヲ加ヘル、デ是ハ府縣參事會ノ權限ヲ擴張スルノデアリマス、府縣參事會ハ現行法ニ依リマスト、議案ノ審査及訴願等ニ付イテ、審査ヲ致シマルトキニ當リマシテモ、實地ニ臨ンデ調査スルト云フコトヲ許シマセヌ、所謂實地臨檢ヲ許サヌト云フコトニナッテ居ル、故ニ總テノコトガ机上調査ニナッテ居ルガ故ニ、往々誤リガゴザイマシテ、偶〻行政裁判等ヲ仰ゲバコトガアリマスル場合ニハ、其參事會ノ決定ヲ失敗ニ歸スルコトガアルノデアリマス、故ニ此權限ヲ擴張致シマシテ、サウ云フ場合ニハ實地臨檢ヲ許スト云フコトニ致サセタイト云フ趣旨デアリマス、デ以上述ベマシタヤウナ次第デアリマスカラ、ドウカ滿場ノ御同意ヲ得テ、今期ノ議會ニハ必ズ通過致シタイヤウニ御願ヲ致シタイト存ジマス、此終リハ一言申シテ置キマスガ、此施行ノ期限デアリマス、此施行ノ期限ハ七月一日ヨリ致シタイト思フ、施行期限ヲ七月一日ヨリト定メタイト思フ、而シテ此選擧ニ關係致シマスル事柄ハ、次ノ總選擧ト致シタイト云フノデ、此附則ヲ加ヘテ置キマシタ次第デゴザイマスカラ、是モドウカ御諒承ヲ請ヒタイト思ヒマス

〔「贊成スル委員附託」ト呼フ者アリ〕

○恆松隆慶君　本案ハ十八名ノ委員、議長指名アランコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君）　恆松君發議ノ通リ、議長指名十八名ノ委員ニ本案ヲ付託スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（杉田定一君）　御異議ハナイト認メマス、其通リ決シマス、次ハ日程第十、災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案第一讀會――議案朗讀

第十　災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案（大津淳一郎君外九名提出）　第一讀會

〔書記朗讀〕

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

第一條　明治三十九年中災害又ハ天候不良ニ因リ府縣又ハ北海道ノ全部若

ハ一部ニ於テ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ其ノ年分ニ限リ之ヲ免除ス

第二條　前條免除ノ申請ハ本法施行後一箇月以內ニ所轄稅務所ニ申出ヅヘシ此ノ期間ヲ經過シタルトキハ免除ノ處分ヲ受ルコトヲ得ス

明治三十六年法律第三號ニ依リ地租延納ヲ出願シタル者ハ本法ニ依ル地租免除ノ出願ヲ爲シタル者ト看做ス

第三條　本法ニ依リ被害調查中ハ其ノ田畑ノ地租ノ徵收ヲ猶豫ス

第四條　本法ニ依リテ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

○菊池武德君　議長——私ハ提出者トシテ此提出ノ理由ヲ簡單ニ述ベタウゴザイマス

○議長（杉田定一君）　コチラヘ御出デナサイ

（菊池武德君登壇）

○菊池武德君　此災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案ト云フモノニハ內容ヲ解剖シテ見マスルト、靑森縣ノ昨年ニ於ケル大凶作ガ此法案ヲ出スノ已ムヲ得ザルニ至ラシメタノデアリマス、尙此外ニモ各地方ニポツ〳〵此凶作ノ悲慘ニ陷ッテ居ル地方ノアルト云フコトハ聞及ンデ居リマスガ、兎ニ角此法律案ニ依ッテ其事實ノ御審查ヲ願ヒタイ、特ニ此靑森縣ノ如キハ昨年モ一昨年モ連年引續キタル打擊ニ依ッテ、殆ド救恤ノ途モ盡キ、見ルニ忍ビザルノ有樣ニ陷ッテ居ルノデアリマス、而シテ是ガ政府ニ於テモ此大凶作ノ事實ヲ認メ、地租免除モ已ムヲ得ナイト云フ位ノコトハ認メテ居ルノデアリマスケレドモ、今日ノ場合國庫ノ缺損ニ關スルコトハ、政府ニ於テモナカ〳〵決斷シ兼ネル、ヤウナ事情ガアルト思ハレル是ハ帝國議會ノ力ヲ以テ政府ニ其決斷ヲ促スト云フコトガ、一番必要デアラウト考ヘマスルカラ、願クハ滿場一致ヲ以テ政府ニ向ッテ免除ノ決心ヲ促スコトニ御贊成アルヤウニ願ヒタイノデアリマス、チヨット簡單ニ述ベテ置キマス

○恆松隆慶君　本案ハ九名ノ委員、議長指名アランコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君）　恆松君發議ノ通リ、九名ノ委員議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　御異議ハナイト認メマス、日程第十一、北海道ニ市制ヲ施行スル法律案第一讀會

○恆松隆慶君　日程第十二ト十三ヲ併セテ願ヒマス

○議長（杉田定一君）　議案朗讀

第十一　北海道ニ市制ヲ施行スル法律案（內山吉太君外六名提出）　第一讀會

（書記朗讀）

北海道ニ市制ヲ施行スル法律案

內務大臣ハ北海道ニ市制ヲ施行スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ市制中府縣トアルハ北海道ニ府縣知事トアルハ北海道廳長官ニ府縣參事會トアルハ道參事會ニ府縣稅トアルハ北海道地方稅ニ該當ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（中西六三郎君登壇）

○中西六三郎君　北海道ニ市制ヲ施行スル法律案ノ提出ノ理由ヲ說明致シマス、諸君ノ御承知ノ通ニ北海道ハ唯今ニ於テハ、普通ノ市制ト異レル北海道區制ト云フモノガ札幌、小樽、函館ノ三區ニ施カレテ居ルノデアリマス、其北海道區制ト申シマスルモノハ、內容ハ、其實市制ト略ボ類似シタモノデアッテ、異ル點ハ參事會ノ制度ガナイト云フ位ノコトニ過ギナイノデアリマス、實際ニ於テ幾ド市制ト同樣ナル類似ノモノヲ施行シテ居リナガラ、一般府縣ノ市制ト云フモノガ、北海道ニハ施カレテ居ラナカッタ成行ハ、ドウ云フ譯デアルカト申スニ、此自治制ヲ北海道ニ新ラタニ施カレマス時分ニハ、未ダ北海道ノ地方狀態ト云フモノハ一般ニ能ク紹介サレテ居ラヌタメニ、少クトモ或ル時間ハ試驗ノ經過ヲ見ナケレバナラヌト云フヤウナ意味カラシテ、參事會制度ダケハ差控ヘテ、普通ノ自治體ニ類似ノ制度ヲヤラセテ居ッタト云フノデアル、然ルニ爾來經過ニ於キマシテハ其自治制ノ運用ノ上ニ於テ、他ノ府縣ノ市ト敢テ異ル狀態ヲ見出サルノミナラズ、人口ノ上ニ於キマシテモ、富ノ關係ニ於キマシモ、或ハ敎育、衞生其他万般ノ施設上ニ於キマシテ唯今トナッテハ、強チ府縣ノ市ト對比シテ遜色ヲ見ナイノデアリマス、然ルニ現行ノ市制ハ其市制制定ノ時ニ於テハ北海道ト云フモノヲ豫期シテ居ラナカッタタメニ、此市制ヲ直チニ北海道ニ適用スルコトノ途ガ開ケテ居ラヌノデゴザイマスカラ、最早府縣同樣ニ市制ヲ施イテ差支ナイト云フ、今日ハ現行ノ市制ヲ北海道ニ適用ノ出來ルト云フ一ノ法律ヲ作ッテ、內務大臣ノ宰領ニ任セテ適宜ニ北海道ニ市制ヲ施クト云フ途ヲ開クト云フコトガ本案ノ希望デゴザイマス、序ナガラ此次ノ二ツノ日程ノ事ヲ申シマスルガ、十二十三ノ日程ハ畢竟此十一ノ日程ニ應用スルタメ不可分的ニ出テ居ルノデアリマスカラ、別段ニ說明申上ゲルコトモゴザイマスマイト思ヒマス、御了解ヲ願ヒマシテ、御贊成ヲ冀ヒマス

○恆松隆慶君　此案ハ十八名ノ委員ニ附託致シタイノデアリマス、議長ノ指名ヲ望ミマス

○議長（杉田定一君）　恆松君發議ノ通リ、本案ハ議長指名、十八名ノ委員ニ附託スルコトニ御異議アリマセヌカ

（「議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　御異議ナイト認メマス

○恆松隆慶君　十二十三モ一括シテ議題トシ前ノ委員ニ附託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（杉田定一君）　恆松君發議ノ通リ日程第十二、第十三ハ一括シテ議題トスルコトニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

第十二　北海道會法中改正法律案（內山吉太君外六名提出）　第一讀會

北海道會法中改正法律案

北海道會法中左ノ通改正ス

第十四條但書ヲ削ル

第十四條ノ二　北海道會ニ道參事會ヲ置キ北海道廳長官、北海道廳高等官二名及名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

名譽職參事會員ハ六名トス

北海道廳高等官ニシテ道參事會員タルヘキ者ハ內務大臣之ヲ命ス

府縣制第六十六條乃至第七十四條、第七十九條、第八十二條、第八十三條及第八十五條乃至第八十七條、第九十四條、第九十六條ノ規定ハ之ヲ本法ニ準用ス

第十三　北海道地方費法中改正法律案（內山吉太君外六名提出）　第一讀會

北海道地方費法中改正法律案

北海道地方費法中左ノ通改正ス

第七條中「但シ其ノ規定中」ノ下「府縣參事會ノ職務ハ、北海道廳長官之ヲ行ヒ」ヲ削ル

○議長（杉田定一君）　恆松君發議ノ通リ一括シテ議題ニ供シ、前ノ委員ニ附託スルコトニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　御異議ナイト認メマス、其通リ決シマシタ——日程第十四、夏秋蠶講習所設置ニ關スル建議案、委員長報告

第十四　夏秋蠶講習所設置ニ關スル建議案（工藤善助君外五名提出）　（委員長報告）

（工藤善助君登壇）

○工藤善助君　本案ニ對スル委員會ノ經過ト結果ヲ報告致シマス、本案ニ對シマシテ都合委員會ハ四回開イタノデアリマス、其間ニ於テ委員會ヨリ代ル〳〵意見ヲ述ベテ當局者ニ質問ヲ致シタノデアリマス、又政府ヨリハ農商務ノ當局者竝ニ大藏大臣ノ出席ヲ求メマシテ、此質問應答ヲ致シタノデアル、隨ヒマシテ此委員會ニ述ベマシタ事柄、又當局者ガ說明ヲ致シタ事柄ハ、此報告ノ場合ニ於テ一應述ベテ呉レト云フノガ委員會ノ希望デゴザイマスル、因テ各員ヨリ意見ヲ加ヘテ述ベタトコロノ要領ヲ簡短ニ述ベヤウト考ヘマス、此蠶業ノ我國ニ於テ富ヲ進メ、貿易ヲ盛ンナラシムルトコロノ、卽チ帝國ノ命脈ヲ維持スル主要ノ問題デアルト云フコトハ、我輩カ喋々ヲ俟タナイトコロデアル、ソレデ此多イ中ノ夏秋蠶ハドノ位ナ部分ニアルカト云フト、凡ソ四割以上ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、此四割以上關係ノアルトコロノ夏秋蠶ニ向ッテハ我國ノ東京ニ西京ニ卽チ東西兩所ノ蠶業講習所ガゴザイマスケレドモ、夏秋蠶ニ付イテハ何等ノ研究ヲ致シテ居ラヌ、又研究ヲ爲スコトモ此兩所ノ講習所ニ於テハ出來ナイノデアル、然ルニ此問題ハ斯ノ如ク重要ナル國家ニ關係ノアルニ拘ラズ、政府ハ何ガ故ニ今日マデ是ガ計畫ヲ立ッテ、四十年度ノ豫算ニ其費用ヲ求メナイノデアル、斯ウ云フコトヲ以テ當局者ニ質問ヲ致シタノデゴザイマス、所ガ農務局長ハ之ニ答ヘマスノニ、政府ハ御同意デアル、全ク吾ミモ諸君ノ言ハル、如ク誠ニ焦眉ノ急ナルモノト信ズルノデアル、如何ニモ其事ハ政府ニ於テモ希望スルトコロデゴザイマスカラ、卽チ四十年度ノ豫算ニ要求致シタノデアル、然ルニ不幸ニシテ財政ノ許サヌルトコロヨリ閣議ノ結果、之ヲ削除セラレタ場合ニナッテ居ルノデアル、斯ウ云フコトデゴザイマシタメニ農商務大臣ノ出席ヲ求メマシテ、唯今私ノ陳述スル理由ニ依ッテ質問致シマシタトコロガヤハリ農商務大臣モ——農商務デハナイ、大藏大臣モ之ニ向ッテヤハリ同意デアル、吾ミモ段々聞及ブトコロニ依レバ、夏秋蠶ノ研究ト云フコトハ、目下ノ急デアルト云フコトハ信ズルノデアル、併ナガラ諸君ガ一ッ問題ヲ提ヘテ以テ此問題ハナゼ研究ヲセナイカト迫ラレタナラバ、或ハ諸君ノ云フガ如キコトハ御尤ノヤウニ聞エルケレドモ、政府ガ各省ノ要求ニ向ッテ公平ニ之ヲ削減ヲシ、又緩急其度ヲ計ッテ爲シマスル場合ニ於テハ、強チ夏秋蠶ニ反對デハナイケレドモ、或ハ削除シナケレバナラヌト云フ結果ニ成ッタノデアル、斯ウ云フ說明デゴザイマシタ、時ニ其委員ヨリ然ラバ是ハ政府ト同意トハ云ヒナガラ、緩急其度ヲ計ルト云フコトハ、他ヨリ是ハ甚ダ緩ナルモノデアルト云フコトヲ認メラレタモノデアルト云フコトニ推察致サナケレバナラヌ、然ルニ此中ニハ隨分花莚ノ檢査デアルトカ、種々樣々ナモノガゴザイマシテ、直接ニ國家ガ此積極的ニ勸業ニ補助スルトコロノモノ、一千七百有餘圓ト云フ巨額ノ中ニ、僅ニ二十万圓以內ノモノヲ以テ國家ノ命脈ヲ維持スル產業ニ向ッテ補助シテ、尙而モ今日ノ夏秋蠶ト云フモノハ全ク事急ニ逼ッテ居ルトコロノ事業ナルニ拘ラズ、之ヲ御捨ニナルト云フノハ甚ダ吾ミノ解セラレナイトコロデアルカラ、ドウカ追加案トシテ四十年度ノ豫算ニ提出セラルヽコトヲ希望スルト云フコトヲ述ベタノデアリマス、所ガ是ハ法律ノ許サナイコロデアル、法律ノ許サヌトコロデアルカラ遺憾ナガラ之ヲ提出スルト云フコトモ出來ナイ、然ラバ四十一年度ハ如何デアルカト云ッタトコロガ、是モ責任ヲ以テ私一人ニ於テコヽデ之ヲ答ヘルコトハ出來ヌガ、政府モ此必要ヲ感ジテ、居ルカラ成ルベク其方針ニ依ッテ取調ベヤウト云フコトデゴザイマシタ、以上述ベマシタトコロノ順序ニ依リマシテ採決ヲスル場合ニハ、委員ハ熱心ニ贊成ヲ致シマシテ、一ノ反對論ナク滿場一致ヲ以テ可決ヲ致シタノデゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス

○恆松隆慶君　採決ヲ望ミマス——本案ハ國本培養ニ適合スルモノデアリマス、滿場一致ヲ以テ贊成セラレンコトヲ希望致シマス

（「採決々々」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　採決ヲ致シマス、委員長報告通リ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　御異議ナイト認メマス、本案ハ確定セラレマシタ——日程第十五、鑛物調查ニ關スル建議案——議案朗讀

第十五　鑛物調查ニ關スル建議案（吉植庄一郎君外一名提出）

（書記朗讀）

鑛物調查ニ關スル建議案

鑛業ノ發達ヲ促シ以テ國力ノ增進ヲ計ルハ洵ニ戰後經營ノ要務ニ屬ス今ヤ政府產業開發ノ方針ニ據リ著々諸般ノ積極的經營ヲ行ハムトスルニ際リ本邦產物中最重要ノ地位ヲ占ムル鑛業奬勵ノ企畫ヲ閑却シタルハ深ク遺憾トスル所ナリ思フニ鑛業奬勵ノ道多端ナリト雖現下ノ急務ハ蓋深山幽谷未發ノ鑛物ヲ探討檢覈シ以テ地下無限ノ富源ヲ國民ニ知悉セシムルヨリ急

ナルハナレ然レトモ斯ノ如キハ勞費多大加フルニ幾多ノ歲月ヲ要スヘク之ヲ國家ノ力ニ待タスムハ到底箇人ノ經營ニ求ムヘカラサルヲ認ム故ニ政府ハ速ニ鑛物調査ノ計畫ヲ定メ本期議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○議長（杉田定一君）　吉植庄一郎君

〔吉植庄一郎君登壇〕

〔「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ〕

○吉植庄一郎君　極ク簡單ニト云フ注文ハ、壇ニ登ラヌ前カラノ注文デスカラ、極ク簡單ニヤリマス、併シ本案ノ趣旨ヲ述ベルニ當リマシテハ、少シ農商務省ノ當局者ニ聞カセナケレバナラヌコトガアルノデアリマス、（「ソレハ委員會デヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ）是ハ御注文ニ依リ略シテ置キマセウ、極ク要領ヲ摘ンデ申上ゲマス題目ハ極メテ少サク鑛物調査ト出テ居リマスケレドモ、此內容ヲ論ズルトキニナリマスト、非常ニ大キナ問題ト本員ハ考ヘテ居ルノデアリマス、先ヅ農商務省ノ今ノ取ッテアルトコロノ產業政策ナルモノヲ見マスルト、誠ニ八百屋主義デ、子供ノ玩弄物ヲ澤山列ベテアルガ如ク、少シモ統一ナケレバ、脈絡モナケレバ、節制モナイト云フヤウナ、誠ニ雜然タル形ヲ以テ居ルノデアリマス、此戰後ノ經營ト致シテ、第一ニ重ンゼナケレバナラヌトコロノ產業政策ヲ取ルニ當リマシテ、重要ナル產業ニ眼ヲ著ケナイデ、有ラユル八百屋流ノ主義ヲ取ッテ行クガ如キハ、誠ニ之ハ憂フベキコトデアル、其チョット證據ノ一トシテ是ハ言ッテ置カナケレバナラヌノデアリマスガ、凡ソ產業ノ中ニ於テ主ナルモノガ澤山無イノデアリマス、先ヅ此產額ノ大ナルモノ、ソレカラシテ其性質ハ世界的競爭ニ堪ヘテ往カレルト云フ性質ノモノデナケレバナラヌ、ソレカラシテ海外輸出ニ適當スルトコロノ品物デナケレバナラヌト云フコトモ、考ヘナケレバナラヌ、要素ハ四ツ五ツアルノデアリマス、是等ノ要素ヲ具備シテ將來國家ガ力ヲ盡シタナラバ、非常ニ國ノ生產カラ發達セシムルニ足ルト云フガ如キ重ナル產業ヲ提ヘテ、重ナル產業ニ向ッテ國家ガ保護奬勵ノ途ヲ盡スト云フガ、卽チ產業ノ政策デアル、今日農商務省ノ取ッテ居ルトコロハ、成程萬遍ナクイロ〳〵ナモノニ手ヲ出シテ、イロ〳〵ナモノニ奬勵ヲスルヤウナ遣方ヲシテ居リマスカラ、此大體ニ於キマシテハ卽チ國ガ一國ノ產業ヲ保護奬勵スルト云フ方針ニナッテ居リマスケレドモ、產業政策トシテ一ツノ八百屋主義ノ政策ト云フモノハ、誠ニ世界ノ大勢ニ適ハヌ政策デアリマシテ、國內ノ人氣ヲ取ルニハ適當ナ政策カ知ラヌケレドモ、今日世界列國ノ競爭場裡ニ立ッテ平和ノ戰爭ニ勝ヲ占メントスルニ當リマシテ、斯樣ナ雜然タル政策ヲ以テ臨ムノハ危險千萬デアルト本員ハ存ジマス、ソレデ試ニ日本ノ現在ニ於テ有スル產業ノ中デ、ドウ云フモノガアルカト云フコトヲ調ベテ見マスルト、產額一億萬圓以上ニ達シテ居ルモノハ僅ニ六ツシカナイヤウニ本員ハ思ヒマス、卽チ重要農產物ガ第一、其次ニ生絲、繭ノ如キモノガ第二デアッテソレカラ第三番目ニ紡績絲、第四番目ガ織物、第五番目ガ鑛山物デ、第六番目ガ酒ダト思ッテ居リマス、此一億萬圓以上ノ產額ヲ有スルモノハ日本ニ於テ僅カ五ツカ六ツシカナイノデアリマス、又海外輸出品ノ重ナルモノヲ調査致シテ見マスト、一箇年四千萬圓以上ノ輸出額ヲ持ッテ居リマスモノハ、生絲、羽二重、紡績及鑛物此三ツヨリナイノデアリマシテ、其他ノモノニ至リマシテハ、一千萬圓以上ト雖モ僅ニ指ヲ屈スルニ過ギナイト云フ有樣デアリマス、卽チ其國ニ於ケル生產額カラ云ヘバ鑛山ノ如キ第五番目ニナル、海外輸出品ノ重要ナル位置ニ於テ輸出品ノ第二位ニ居ルノデアリマス、斯ノ如ク重大ナル、國ニ關係ヲ持ッテ居ルトコロノ產業ニ對シテ、農商務省ガ今日マデ如何ナル是ニ施設ヲ爲シテ居ッタカト云フコトヲ見マスルト、僅ニ鑛山監督署ヲ設ケテ置イテ、鑛山ノ出願及其事業ノ監督ヲスル、其事業ノ外ニ於テハ殆ド見ルベキモノハ一ツモ無イデアリマス、其金額ヲ計上致シテ見マスルト、其金額ハ年額臨時部、經常部ヲ合セテ僅ニ三十万圓、四十万圓ノ間ヲ上下シテ居ルノデアリマス、而シテ此鑛山稅及登錄稅ト手數料トデ一箇年政府ガ收メテ居ル金ハ——直接ニ收メテ居ル金ハ、何程アルカト云フト、二百五十六万圓デアッテ、政府ガ支出スル金ハ僅ニ四十万圓ニ達シナイノデアリマス、卽チ收入ノ六分ノ一ニ達シナイノデアリマス、諸君、一面ニ於キマシテハ國ノ產業トシテ第五位若クハ、輸出品トシテ第二位ト云フ重要ナル位地ニ立ッテ居ル鑛業ニ對シテ、國ハ厘毛モ保護シテ居ラヌノデアル、卽チ收入ノ六分ノ一ヲ仕拂ッテ、僅カニ日本ノ鑛業ノ發達ヲ助ケテ居ル、此ノ如キコトハ殆ド政策ト言ハレナイ、無政策ヨリ甚シイト言ハナケレバナラヌト、本員ハ思フノデアリマス、斯樣ナ譯デアリマシテ殊ニ先刻申述ベマシタ中デ、一ツ取落シタコトハ產業中ニ於テ將來保護奬勵ヲシテモ現在ノ位地ヨリモ盛ンニナラナイト云フ性質ノモノガアリマス、然ルニ此鑛業ノ點ニ於キマシテハ、マダ日本ノ鑛業ナルモノハ殆ド未知數ト言ハナケレバナラヌ、極メテ幼稚蒙昧ノ地位ニ在ルノデアリマス、此出願ノ件數及實際ノ狀態カラ考ヘマシテ、現今ノ著手セラレテ居ル日本ノ鑛山ハ百分ノ一ニ達シテ居ラナイ、卽チ此何百倍ト云フ寶物ガ地下ニ澤山埋藏シテ居ルノデアリマス、此統計表ニ依リマシテ既往及現在ヲ對照致シテ將來ヲ考ヘマスルト、今後十年ニ於キマシテハ日本ノ鑛產額ハ三億六千万圓以上ニ達スルト云フコトハ、統計ノ明カニ示ストコロデアル、又海外輸出ノ金高ニ於テハ十年後ニ於テハ一億二千万圓以上ノ巨額ニ達スルコトモ、統計表ガ明カニ吾ミニ證據ヲ與ヘテ居リマス、現在ニ於テ此ノ如キ產額ヲ持ッテ居リ、將來ニ於テハ十年間ニ二十七割ト云フガ如キ、長足ノ進步ヲ以テ進ム日本ノ一大產業ニ對シテ、國家ガ何等ノ設備ヲシナイト云フコトハ、殆ド常識ヲ以テ判斷ガ出來ナイコト、慨嘆致スノデアリマス、鑛物調查ノ事ノ如キハ僅カニ鑛業ノ政策ノ端緖、ホンノ序幕ノ第一頁ノ劈頭ニ書イテ置イタコトデアリマシテ、是ニ引續イテ國家ガ此事業適當ナルトコロノ經營施設ヲナセト云フノガ、本建議案ノ要領デアリマス——精神デアリマス、今日農商務ノ當局者ヲ前ニ置イテ十分ニ本員ノ懷抱スルトコロヲ言ハントシタノデアリマスケレドモ、殆ド明屋敷ニナッテ居リマス、農商務省當局者ガ此ノ如キ建議デアルニ拘ラズ、一人ノ主任者モ來テ居ラヌト云フノハ怪シカラヌ遣方デアリマスカラ、委員會ニ於テ十分叱ッテヤラウト思ヒマス

○恆松隆慶君　本案ハ九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス、議長指名

○議長（杉田定一君）　恆松君發議ノ通リ、議長指名九名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（杉田定一君）　御異議ハナイト認メマス——日程第十六、郡役所廢止ニ關スル建議案、議案朗讀

第十六　郡役所廢止ニ關スル建議案（島田三郎君外三名提出）

〔書記朗讀〕

郡役所廢止ニ關スル建議案

地方行政事務ノ簡捷ヲ圖リ兼テ行政費ノ節減ヲ期セムカ爲政府ハ速ニ郡役

所ヲ廢止スルノ措置ニ出テムコトヲ望ム
右建議ス
○議長（杉田定一君）　島田三郎君
（島田三郎君登壇）
○島田三郎君　本案ヲ提出致シマシタノハ餘リ多クノ說明ヲ要セヌト思ヒマス、併ナガラ過日來郡役所ノ問題ガ他ノ議案ト牽聯シテ居リマシテ、唯今上院デ調査ニナッテ居リマスル郡制廢止ト相伴ウテ政治的問題トナッテ居リマスカラ、本員ハソレダケハ是非說明シナケレバナラヌ、竝ニ前衆議院ニ於テハ本員ハ郡制廢止ニ反對ノ投票ヲ致シマシタ、併ナガラ多數ハ郡制ヲ廢止スルト云フコトニ決セラレテ、貴族院ヘ回サレマシタ、本員ハ何故ニ郡制廢止ノトキニ反對ノ投票ヲシテ、サウシテ相伴ウテ居リマス郡役所廢止ノ建議案ニ卒先シテ調印シタカト云フコトモ、ヤハリ說明シナケレバ其責任ガ盡キヌト思ヒマス、是ハ稍〻長キニ渉ッテモ諸君ニ聞イテ戴カネバナラヌ、併ナガラ强テ本員ガ諸君ヲ長ク煩ハスノデナイ、必要ガアレバ長クナリ、不必要ナレバ短クナリマス、「是ハ諸君ニ豫テ御斷リシテ置キマス、本員ノ考ヘルトコロニ依レバ、郡制ト云フモノト、郡役所ト云フモノハ密著シテ離ルベカラザル關係ヲ今日生ジテ居リマス、既ニ多數ノ御方ハ郡制ヲ廢止スルト云フコトニ決定セラレタ以上ハ、其引續トシテ郡役所ヲ廢止スベシト結論セラレルノガ當然デアルト思フ、尚且此投票ヲナサレタ方ハ其時ノ要件ハ、郡役所廢止ノ前提トシテ郡制ノ廢止ニ同意スルト言ハレタノデアリマスカラ、若シ郡役所ヲ廢セズシテ郡制ダケヲ廢止スルト云フコトガ明カニ決セラレテ居ッタラバ、多分ハ郡制ハ廢止セラレナカッタデアラウ、必ズ廢止ノ決議ハ得ラレナカッタニ相違ナイト思フ、然ラバ今日ニ至ッテハ院議ヲ重ンズルト云フ精神デアレバ、政友會ノ御方モ、ヤハリ郡役所ヲ廢止スルト云フコトニ起立セラレテ、原内相ガ此壇ニ於テ郡役所ハ廢止セズトハ云ハレタコトヲ、立法權ヲ以テ行政官ノ考ヲ取消サシムルダケノ責任ハアルト、本員ハ思ッテ居リマス、關係シテ居ルト云フコトヲ詳シク言フ必要ハゴザイマセヌガ、政友會ノ代表者トシテ辯ゼラレタトコロノ竹越君ハ、郡ハ政治的區分デナイト言ハレタ、博覽强記ノ歷史家デゴザイマスカラ、大寶令ニ遡ッテ御議論ニナッテ本員モ謹ンデ承リマシタ、本員ハ此專門ノ歷史家ニ斯ノ如キコトハ讓ッテ、暗イ問題ニハ渉リマセヌノデ、其問題ハ外ト致シマシテ、斯ノ如キ高壇ニ立ッテ議論ヲ致サヌデモ、事實ガ郡役所ヲ唯今不必要ト決定シテ居ル如ク、本員ノ眼中ニハ映ズルノデアリマス、併ナガラ郡制ガ殘ッテ居ル間ハ、ヤハリ郡役所モソレニ牽聯シタル問題トシテ殘シテ居ル譯デゴザイマス、郡制既ニ廢セラレテ、郡役所ダケ殘シテ置クト云フコトハ、極メテ議會ナキ行政府ヲ置クガ如ク、今日歐米諸國ノ議會ニ比シテ遺憾ナガラ我國ノ議會ハ權力微ナリト雖モ、一朝議會ヲ除イテ行政府ヲ成立タシムルト云ヘバ、國民ハ奮起シテ之ニ反對スルト思フ、卽チ憲法維持ノタメニ議會ノ權力微ナリト雖モ、之ヲ大ナラシムルトコロノ基礎トシテ、尊重スル精神ヲ以テ郡役所ガアル以上ハ、郡制ト云フモノヲ存シテ置クト云フコトガ必要デアルト本員ハ見タノデアリマス、然ルニ原内相ハ郡役所ヲ廢セズシテ郡制ダケヲ廢スルト云フコトヲ明言セラレタ故ニ、本員ハ然ラバ行政府ノ權力ヲ以テ此郡役所ヲ維持スルト云フコトデアルナラバ、餘儀ナク郡役所ノ專恣ニ流レザランガタメニ、郡制ヲ留メテ置ク必要ガアル、少ナクトモ來ルベキ總選擧ニ當ッテ政府ノ手先キトナリ、縣廳ノ出張所トナッテ、政府ニ聯絡アル議員ノ選擧ヲ助クルガ如キ干渉ヲ爲サシメザランガタメニ少クトモ郡制ヲ留メテ置イテ其責任ニスル必要ガアルト云フテ置イタ、然ルニ今日郡制廢止セラレテ、貴族院議員ハ如何ニ之ヲ決セラレルカ知リマセヌガ、衆議院ガ之ヲ決定シタル以上ハ、一貫シタル精神ヲ以テ、併セテ郡役所ヲ廢スルト云フコトハ、誠ニ當然ナ結論ト本員ハ確信致シマス、郡役所ハ何故ニ不必要デアルカト云ヘバ、本員ハ歷史家ニアラザレバ、大寶令ニ遡ル知識ヲ有サヌガ、近ク郡制若クハ地方自治制度ガ立チマシタ事情ヲ考ヘレバ、分ル、郡ハ單ニ地理的名稱ヲ遺シタモノデ、行政的ノ事實ハナイノデアル、今日武藏トカ伊豆トカ云フ國ノ名ハ遺ッテ居ルガ、是ハ行政上ノ名稱ニアラズ、地理的、歷史的ノ名デアル、然ルニ東京府デアルトカ、靜岡縣デアルトカ云フノハ、行政區デアル如ク、郡モ亦歷史的地理的ノ名稱デ、決シテ行政ノ區劃デナイ、然ラバ何故ニ郡制ガ立ッタカ、全ク佛蘭西ノ翻譯ヲ採ッテ、縣會アレバ郡ノ會無カルベカラズ、村會アレバ、郡會無カルベカラズト云フ翻譯制度ヲ採ッテ、地理的名稱ニ行政ノ如キ影ヲ與ヘタノガ、今日郡制ノ存スル所以デ、竝ニ當時ハ交通機關今日ノ如ク便ナラザルガタメ、縣廳ノ出張所ヲ置ク必要ニ出タモノデアル、且郡役所ノ仕事ハ租稅ノ徵收、森林ノコト、敎育ノコトナドヲヤッタガ、是等ノモノハ全然他ノ事務所ニ移ッテ、收稅事務ハ收稅署ニ移リ、森林ノコトハ林區署ニ移リ、其他敎育ノコトモ今日郡視學ト云フモノガアルガ、事實ハ縣廳デ總括シテ居ル、郡役所ノ今日ハ其影ヲ留ムルノミデ、事實ニ於テ歷史的、地理的名稱ニ過ギナイ、往時重要ナル事務モ今日ハ他ニ移ッテ居ルノデアル、然ルニ何故ニ郡役所ガ今日殘ッテ居ルカト云フト、多ク扱ル仕事ハ社會的事業、卽チ赤十字社ノコトヲ賴ムトカ、慈善事業ノコトヲ賴ムトカ、或ハ義勇艦隊ノ金ヲ募ルトカ云フコトガ、縣廳ニ續イテ郡役所デヤルト云フノデ、是ハ行政ノ性質ヲ失ッテ、縣廳ト町村トノ間ニ於テ、社會的事務ノ取次ヲナスニ過ギナイ、社會的事業ヲナサシムルナラバ、全然人民ノ性質ナル村長ニナサシメ、町長ニナサシムルガ適切デ、此市町村ノ成長發達ヲ望ムニハ、中間ニナイ方ガ便利ヲ與ヘルノデアル、而シテ郡制ヲ廢シ、郡役所ヲ廢スル上ニ於テ、費用ノ節約ハドウデアルカト云フト、郡會ヲ廢スルノミデハソレガ極メテ少ナイノデアル、地方政治ノ簡易ヲ求メルコトモ既ニ達スル能ハズ地方費用ヲ減ズル目的ニモ副ハヌト云フコトニナル、若シ地方政治ヲ簡易ニシ費用ヲ減ズルトカ、地方行政地方自治ノ發達ヲ望ムト云フナラバ、寧ロ郡役所ヲ廢スルガ郡會ヲ廢スル以前ニ於テアルベキコトデ、少ナクトモ同時ニアルベキコトデアル、今日交通機關ノ開發モ往時ト異ッテ、町村ノ合併モ地方ニ依ッテ進ンデ居ッテ、後來町村ヲ合併スル必要モ追ッテ居ル今日、地方ノ事情ヲ承ハルトコロデハ、町村ガ小サイ故ニ町長村長ノ給料ヲ支出スベキ區劃ガ甚ダ狹クアルタメニ、適當ノ專門ノ能力アル町村長ヲ得ルニ苦ンデ、間ニ合セヲシテ居ル有樣デアル、故ニ地方行政ノ發達ト町村自治ノ確立ヲ計ルタメニモ、郡役所ノ無キヲ望マナケレバナラヌノデアル殊ニ衆議院ガ郡制ノ廢止ニ多數ヲ得タル場合デアルカラ、一日モ早ク郡役所ヲ廢止シテ、縣廳ノ出張所、行政官ノ手先ヲシテ國民ノ自活ニ干渉セシメザルヤウニシタイト云フノ理由ヲ以テ、速ニ此建議案通ニナランコトヲ希望シ、併セテ郡制廢止ニ盡力サレタ如クニ、アラユル手段ヲ盡シテ、此郡役所廢止ニ盡力サレンコトヲ望ムノデアリマス
○恆松隆慶君　本案ハ十八名ノ委員付託トシテ、議長ノ指名アランコトヲ望ミマス
○議長（杉田定一君）　恆松隆慶君ノ十八名ノ議長指名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ
（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）
○議長（杉田定一君）　御異議ガナイト認メマス、日程第十七、明治三十三年勅令

第百三十二號廢止ニ關スル建議案ニ移リマス、議案朗讀

第十七　明治三十三年勅令第百三十二號廢止ニ關スル建議案（川島瀧藏君提出）

（書記朗讀）

明治三十三年勅令第百三十二號廢止ニ關スル建議案

明治三十三年勅令第百三十二號ハ速ニ之ヲ廢止セラレムコトヲ望ム

右建議ス

（川島瀧藏君登壇）

○川島瀧藏君　諸君、此勅令第百三十二號廢止ノ建議案ハ、前議會ニ出シマシタトコロガ、政府ノ反對ノタメニ破レタノデアリマスカラ、尚又玆ニ提出シタ次第デアリマス、本案ハ御承知ノ通明治三十三年以前ニ於キマシテハ、軍人恩給法ノ中第二十五條二項ト云フモノニ於テ、準士官以上以下ヲ問ハズ、總テ他ノ恩給ヲ受クルモノガ判任官以上ニ任ゼラルヽトキハ恩給金ダケハ停止サレタノデアリマス、然ルニソレデハ准士官以下ノ者ハ、將來各種ノ希望ヲ以テ奬勵ヲ致サナケレバナラヌコトデアルカラ、軍人優遇ノ方法トシテ、此准士官以下ハ停止シナイコトニシタガ宜カラウト云フノデ、即チ三十三年三月法律第七十八號ニテ此改正ヲ致サレタノデアリマス、然ルニ同年同月勅令第百三十二號ヲ以テ、此恩給金ヲ受クル資格アル者ガ、文官判任官以上ニ任ゼラレタトキニハ恩給金ニ當ル金額ハ、毎月ソレダケ控除シテ與ヘルト云フ勅令ガ出タ、サウシテ以前ニ改正ヲシタ趣旨ヲ沒却シタ次第デアリマス、是ハ實ニ軍人ヲ優遇スル途デナイト信ジテ、玆ニ建議案ヲ提出シタ次第デアリマス、其當時政府ガ如何ナルコトヲ以テ反對シタカト云ヘバ、第一俸給ナルモノハ勅令ニ依ッテ改正シテ差支ナイモノデアルカラ、左樣ナコトヲシタト云フノガ第一デアル、併シ俸給ニ關聯スルトコロノ恩給ニマデ及ボスト云フコトハ、實ニ穩當デナイト云フ考ヲ本員等ハ持ッテ居ル、第二ニハ二重取リニナルカラ不都合ト言ハル、併シソレハ少シ見當ガ違ッテ居ルト思フ、恩給ト云ヒ、賞典ト云ヒ、此差ハ幾ラモ違ハナイカラ、斯ノ如キモノニ對シテハ二重取ト云フコトニハナラナイト思フ、故ニ恩給ヲ受ケル者ニシテ、文官判任以上ニ採用サレルモノガ身分相當ノ才能知識ニ依ッテ採用サレタトスレバ、是ハ國家ガ決シテ二重取ヲサセルト云フ譯デハナイ、普通ノ支給ト申スノデアリマス、第三ニハ勅令ヲ廢シテ軍人上リノ者ヲ使ッタトキニハ低イ俸給デナクテハ採用セヌト云フコトニナルカラ、ソレデハ却テ軍人ノ名譽上面白クナイデハナイカト云フ御議論モアリマシタガ、是モ誠ニ薄弱ナル理由デ、左樣ニ御心配ガ深イト云フコトデアレバ、寧ロ左樣ナ恩給額ダケ引ク下ト云フ不體裁ナコトヲ爲サラズ、親切ニ取扱ッタ方ガ宜イト思ヒマス、第四ニハ採用ノ區域ヲ此勅令ヲ廢スルト狹クスルト言ハレマシタガ、是モ事實ニ當ラヌノデアリマス、其當時調査致シマシタ陸海軍准士官以下ノ恩給者ニシテ就官志願者ニ係ル十八年間ノ統計ニ依ッテ見マスルニ、此勅令ヲ出サレマシタ後トテ、志願者ト云フモノガ追ヽ少ナクナッテ居リマス、多クハナッテ居ラヌノデアリマス、左樣致シマスレバ此勅令ト云フモノハ全ク無意味ナモノニナリマスルノミナラズ、實ニ勅令ヲ以テ法律ノ精神ヲ沒却サセルト云フヤウナコトハ、甚ダ不都合ナコトデアリマスカラ、滿場ノ贊成ヲ得マシテ、速ニ廢止セラレンコトヲ望ミマス

○恆松隆慶君　本案ハ九名ノ委員、議長指名アランコトヲ望ミマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○議長（杉田定一君）　恆松君發議ノ通リ、九名ノ委員議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君）　御異議ハ無イト認メマス

○恆松隆慶君　次ノ十八、十九ノコトニ付イテ緊急動議ガアリマス、ソレハ一括シテ議題ト爲シ、提出者ノ說明ヲ略シテ各案毎ニ九名ノ委員ヲ議長指名アランコトヲ望ミマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○議長（杉田定一君）　恆松君發議通リ日程第十八、日程第十九ハ一括シテ議題トナシ、此說明ヲ略シ、各案ニ付イテ議長指名九名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

第十八　渡良瀨川改修工事ニ關スル建議案（木村半兵衞君外二名提出）

渡良瀨川改修工事ニ關スル建議案

渡良瀨川沿岸ニ於ケル水害ハ近年甚ダシテ加フルニ鑛毒ヲ以テス今ヤ政府ハ之カ改修工事ヲ急クヘキニ其ノ計畫ヲ十數年ノ後ニセムトス國家ノ不利之ヨリ大ナルハ莫シ宜シク利根川河身改良工事ノ繼續年限ヲ短縮シ年度割當金額ヲ增加シ次期ノ議會ニ提出スヘシ

右建議ス

第十九　製茶販路擴張補助ニ關スル建議案（松浦五兵衞君外九名提出）

製茶販路擴張補助ニ關スル建議案

本邦製茶ハ海外ニ輸出セラルルモノ年々一千萬圓ヲ下ラスシテ實ニ我カ貿易品中ノ主要ナル物產タリ然ルニ外國市場ニ於ケル競爭ノ情勢タルヤ常ニ印度茶錫倫茶又ハ支那茶ノ爲ニ壓迫セラレ販路次第ニ縮小シテ商況漸ク不振ニ陷リ當業者ノ困苦名狀スヘカラサルモノアラムトス

今ヤ國運ノ隆興ハ產業ノ發達ヲ促カス極メテ急ナルノ時ニ當リ外ハ卽チ其ノ販路ヲ蠶食セラレ內ハ彌〻斯業ノ衰退ヲ來ス如キコトアラムカ獨リ當業者ノ不幸ノミニ非ラサルヤ明カナリ政府ハ宜ク之ニ相當ノ補助ヲ與ヘ外國市場ニ於ケル販路擴張ノ資ヲ豐カナラシメ以テ內地ノ生產ヲシテ益〻發達增進セシムルノ計ヲ悉クサレムコトヲ望ム

右建議ス

○議長（杉田定一君）　御異議ハナイト認メマス、其通リ決シマシタ、御諮リスルコトガアリマス、會期モ段々切迫致シマシタデ、委員付託中ノ議案ガ隨分多クアリマスノデ、今後ハ會議ノ日デモ本會議ニ妨ナイ限リハ委員會ヲ御開キナリ、速ニ議案ノ審査ヲ遂ゲラレンコトヲ希望致シマス、又新タニ委員ヲ囑託セラレタル御方ハ、其翌日必ズ委員會ヲ開キ、委員長及理事ヲ互選セラレ、引續キ議案ノ審査ニ從事セラレンコトヲ併セテ希望致シマス——報告ガアリマス

（書記朗讀）

一委員ヲ指名スル左ノ如シ

日本水產銀行法案外一件

小山田信藏君　内山吉太君　湯山壽介君　神前修三君　恆松隆慶君
森茂生君　蘆田鹿之助君　長谷部金藏君　多田作兵衞君　中林友信君
景山甚右衞門君　武滿義雄君　東尾平太郎君　金岡又左衞門君　關野善次郎君
鈴木久次郎君　小田文行君　降旗元太郎君　島田三郎君　橋本久太郎君
澤田佐助君　星野仙藏君　堀谷左治郎君
三輪猶作君　濱田國松君　大久保弁太郎君

鑛業法中改正法律案

丸山嵯峨一郎君　伊藤傳右衞門君　青柳信五郎君　坂元英俊君
小澤愛次郎君　山口達太郎君　美禰龍彦君　井上精一郎君
矢島浦太郎君　城重雄君　川島龍藏君　關口安太郎君

府縣制中改正法律案

漆昌巖君　鳥海哲四郎君　大野久次君　山本繁造君
牧野逸馬君　河上英君　楠目玄君　佐々木正藏君
植場平君　福島美之助君　野上嘉平君　石田貫之助君
大熊三之助君　安島重三郎君　市田兵七君　野田卯太郎君
森秀次君　松家德二君　久保伊一郎君　宮古啓三郎君
富島暢夫君　藤崎朋之君　鵜飼退藏君　神崎東藏君
望月長夫君
大淵龍太郎君
岩本晴之君

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

遠藤貞吉君　海野謙次郎君　矢島中君　池松豐記君
武內美代吉君　關春茂君　山田平太郎君　朝倉鐵藏君
齋藤貞輔君　雄倉茂次郎君　萩野左門君　武藤金吉君

北海道ニ市制ヲ施行スル法律案外二件

中村清一郎君　中西六三郎君　大野久次君　粟原宣太郎君
淺羽靖君　山本悌二郎君　楠目玄君　青地雄太郎君
野口源一郎君　横田虎彥君　井上與一郎君　加瀨禧逸君
古井由之君　乾奈貞吉君　本院ノ體面ニ關スル件
中村雄藏君　石川清君　大岡育造君　立川雲平君
松井源內君　金子元三郎君　竹越與三郎君　奧野市次郎君
鑛物調查ニ關スル建議案　近江谷榮次君　磯部四郎君　日向輝武君
吉植庄一郎君　鞍谷清愼君　大熊三之助君　森田卓爾君
大野龜三郎君　由布惟義君　松元剛吉君　西村丹次郎君　南條吉左衞門君
淺野陽吉君　荻野芳藏君　脇榮太郎君　岡井藤之丞君　山口熊野君
郡役所廢止ニ關スル建議案　福井三郎君　堀田連太郎君

紺谷義三君　長晴登君　淺野順平君
松本大吉君　荒川五郎君　上埜安太郎君

○議長（杉田定一君）次ノ日程ヲ報告シマス

（書記朗讀）

午後一時開議

第一　樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案（政府提出）　第一讀會
第二　右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選擧
第三　海港檢疫法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會
第四　右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選擧
第五　刑法改正案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會ノ續（委員長報告）
第六　市場法案（川島龍藏外一名提出）　第一讀會
第七　裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案（築山和一外一名提出）　第一讀會
第八　鐵道計畫ノ速成改善ニ關スル建議案（佐竹作太郎外百五十九名提出）　（委員長報告）
第九　司法官ノ待遇ニ關スル建議案（宮古啓三郎外十一名提出）

○議長（杉田定一君）是ニテ散會致シマス

午後四時九分散會